

大学番号 私立193

注3

設置年度 平成 31年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 メディカルバイオサイエンス学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人関西文理総合学園

令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 事務局長 奥村 忠一

電話番号 0749-64-8100

（夜間） 0749-64-8100

e-mail t_okumura@nagahama-i-bio.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

バイオサイエンス学部

＜メディカルバイオサイエンス学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 関西文理総合学園

(2) 大 学 名

長浜バイオ大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒526-0829

滋賀県長浜市田村町1266番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ワカバヤシ ヒロフミ) 若林 浩文 (平成29年12月)	(ワカバヤシ ヒロフミ) 若林 浩文 (令和2年12月)	理事長任期満了に伴う重任 令和2年12月19日(3)
学 長	(サイ コウショク) 蔡 晃植 (平成29年4月)	(サイ コウショク) 蔡 晃植 (令和3年4月)	学長任期満了に伴う再任 令和3年4月1日(3)
学 部 長	(カワイ ヤスシ) 河合 靖 (平成31年4月)	(カワイ ヤスシ) 河合 靖 (令和3年4月)	学部長任期満了に伴う再任 令和3年4月1日(3)
学科長等	(ナガタ ヒロシ) 永田 宏 (平成31年4月)	(カメムラ カズオ) 亀村 和生 (令和3年4月)	学科長任期満了に伴う就任 令和3年4月1日(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
バイオサイエンス学部 バイオサイエンス学科 学士（バイオサイエンス）	理学関係	4年	70人	-人	280人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	70人 (-) [-]	0人 (-) [-]	70人 (-) [-]	0人 (-) [-]	70人 (-) [-]	0人 (-) [-]	0.95倍	- 倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	713 (-) [6]	- (-) [-]	687 (-) [10]	- (-) [-]	563 (-) [6]	- (-) [-]			
受験者数	() []	() []	() []	() []	697 (-) [6]	- (-) [-]	668 (-) [10]	- (-) [-]	531 (-) [5]	- (-) [-]			
合格者数	() []	() []	() []	() []	444 (-) [5]	- (-) [-]	532 (-) [8]	- (-) [-]	438 (-) [5]	- (-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	79 (-) [5]	- (-) [-]	73 (-) [6]	- (-) [-]	50 (-) [3]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A					1.12		1.04		0.71				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次					76 [5] (-)	- [-] (-)	70 [6] (1)	- [-] (-)	57 [3] (7)	- [-] (-)	
2 年次							73 [5] (-)	- [-] (-)	69 [6] (6)	- [-] (-)	
3 年次									67 [5] (-)	- [-] (-)	
4 年次											
計	[] ()		[] ()		76 [5] (-)		143 [11] (1)		193 [14] (13)		

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	79 人	3 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	3 人	0 人	他の教育機関への転学(2名)、家庭事情(1名)
令和2年度	149 人	6 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1名)、他の教育機関への転学(1名)
			令和2年度	4 人	0 人	他の教育機関への転学(2名)、就職(1名)、転学科(1名)
令和3年度	193 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計		9 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{79} = \boxed{3.79} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{149} = \boxed{4.02} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{193} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<バイオサイエンス学部 メディカルバイオサイエンス学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部 共通	語 学 系	一般英語Ⅰ	1前	2									兼4
		一般英語Ⅱ	1後	2									兼4
		科学英語Ⅰ	2前	2									兼4
		科学英語Ⅱ	2後	2									兼4
		科学英語Ⅲ	3・4前		2								兼1
		科学英語Ⅳ	3・4後		2								兼1
		英語多読Ⅰ	1・2前		2								兼1
		英語多読Ⅱ	1・2後		2								兼1
		英会話Ⅰ	2・3・4前		2								兼1
		英会話Ⅱ	2・3・4後		2								兼1
		TOEIC講座Ⅰ	3・4前		2								兼1
		TOEIC講座Ⅱ	3・4後		2								兼1
		英文法Ⅰ	1・2・3・4前		1								兼1
		英文法Ⅱ	1・2・3・4後		1								兼1
		海外英語研修	2・3・4後			1							兼1
		小計（15科目）	-	8	18	1	0	0	0	0	0		兼7
		言語表現Ⅰ	1前	2									
	言語表現Ⅱ	1後	2										兼2
	日本語Ⅰ（留学生）	1前		1									兼1
	日本語Ⅱ（留学生）	1後		1									兼1
	小計（4科目）	-	4	2	0	0	0	0	0	0		兼2	
	教 養 系	科学技術論	1前		2								兼1
		データサイエンス入門	1前	2									兼1
		健康保健学	1前		2								兼1
		社会学	1前		2								兼1
		現代の政治と社会	1前		2								兼1
		哲学	1前		2								兼1
		世界史	1前		2								兼1
		心理学	1前		2								兼1
		経済学	1後		2								兼1
		法学（日本国憲法）	1後		2								兼1
		データ解析学	2前		2								兼1
		文学	2前		2								兼1
		日本の歴史と文化	2前		2								兼1
		おうみ学生未来塾	2後		2								兼2
		近江の文化と歴史	2後		2								兼1
		小計（15科目）	-	2	28	0	0	0	0	0	0		兼16
		キ ャ リ ア 教 育 系 ／ ビ ジ ネ ス 教 育 系	大学での学びと実践方法Ⅰ	1前	2				3				
	大学での学びと実践方法Ⅱ		1後	2									兼1
	社風発見インターンシップ		1後		1								兼1
	長浜魅力づくりプロジェクト		2通		2								兼1
	バイオビジネス概論		2前		2								兼2
	化学工学基礎		2後		2		1						
	マーケティング戦略の立案		2後		1								兼1
	工学デザイン概論		2前		2		1						
	社会との関わりとキャリアパス		3前		2								兼1
	生物工学システム		3前		2			1					兼1
インターンシップ実習	3後				1							兼1	
バイオ産業論	3後			2								兼1	
小計（12科目）	-		4	16	1	1	3	0	0	0		兼13	

【令和3年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
語 学 系	学 部 共 通	一般英語Ⅰ	1前	2					1			兼3
		一般英語Ⅱ	1後	2					1			兼3
		科学英語Ⅰ	2前	2					1			兼3
		科学英語Ⅱ	2後	2					1			兼3
		科学英語Ⅲ	3・4前		2							兼1
		科学英語Ⅳ	3・4後		2							兼1
		英語多読Ⅰ	1・2前		2				1			兼0
		英語多読Ⅱ	1・2後		2				1			兼0
		英会話Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
		英会話Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
		TOEIC講座Ⅰ	3・4前		2							兼1
		TOEIC講座Ⅱ	3・4後		2							兼1
		英文法Ⅰ	1・3・3・4後		1							兼1
		英文法Ⅱ	1・3・3・4後		1							兼1
		海外英語研修(未開講)	2・3・4後			1			1			兼0
		小計（15科目）	-	8	18	1	0	0	1	0	0	兼7
	言語表現Ⅰ	1前	2								兼2	
	言語表現Ⅱ	1後	2								兼2	
	日本語Ⅰ（留学生）	1前		1							兼1	
	日本語Ⅱ（留学生）	1後		1							兼1	
	小計（4科目）	-	4	2	0	0	0	0	0	0	兼2	
	教 養 系	科学技術論	1前	2								兼1
		サイエンスイノベーション入門	1前	2		3	1					兼5
		健康保健学	1前	2								兼1
		社会学	1前	2								兼1
		現代の政治と社会	1前	2								兼1
		哲学	1前	2								兼1
		世界史	1前	2								兼1
		心理学	1前	2								兼1
		経済学	1後	2								兼1
		法学（日本国憲法）	1後	2								兼1
		データ解析学	2前	2								兼2
		文学	2前	2								兼1
		日本の歴史と文化	2前	2								兼1
		おうみ学生未来塾	2後	2		1						兼0
		近江の文化と歴史	2後	2								兼1
近江でのSDGsの実践		1通	2								兼1	
小計（16科目）		-	2	30	0	4	1	0	0	0	兼18	
キ ャ リ ア 教 育 系 ／ ビ ジ ネ ス 教 育 系		大学での学びと実践方法Ⅰ	1前	2			1	0		3		兼9
	大学での学びと実践方法Ⅱ	1後	2			1					兼0	
	社風発見インターンシップ	1後		1		1					兼0	
	長浜魅力づくりプロジェクト(未開講)	2通		2		1					兼0	
	バイオビジネス概論	2前		2		2					兼0	
	化学工学基礎	2後		2		1						
	マーケティング戦略の立案	2後		1		1					兼0	
	工学デザイン概論	2前		2		1						
	社会との関わりとキャリアパス	3前		2		1					兼0	
	生物工学システム	3前		2			1				兼1	
	インターンシップ実習(未開講)	3後			1						兼1	
	バイオ産業論	3後		2		1					兼0	
生産管理システム	3後		1			2				兼2		
小計（13科目）	-	4	17	1	3	2	0	3	0	兼13		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
数理学系	数理学Ⅰ	1前	2								兼1
	数理学Ⅱ	1後		2							兼2
	数理学Ⅲ	1後		2							兼1
	数理学Ⅳ	2前		2							兼1
	数理学Ⅴ	2後		2							兼1
	線形代数学	1前		2							兼1
	数学基礎演習Ⅰ（基礎解析）	1前		1							兼2
	数学基礎演習Ⅱ（微分積分）	1後		1							兼1
	解析学	2後		2							兼1
	小計（9科目）	-	2	14	0	0	0	0	0	0	兼6
物質科学系	化学基礎	1前	2				2				兼4
	エッセンシャル生化学Ⅰ	1前	2				1				
	エッセンシャル生化学Ⅱ	1後	2				1				
	エッセンシャル化学Ⅰ	1後	2				1				兼2
	エッセンシャル化学Ⅱ	2前		2							兼2
	安全学	2前		2							兼1
	機器分析概論	2前		2							兼2
	有機化学	2後		2							兼1
	小計（8科目）	-	8	8	0	0	4	0	0	0	兼6
情報系	コンピュータ基礎実習	1前		1							兼1
	コンピュータ応用実習	1後	1				1				兼5
	生命情報科学概論	2前		2							兼2
	生命情報科学実習	2前		1			1				兼3
	小計（4科目）	-	1	4	0	0	1	0	0	0	兼6
学部共通生命科学系	エッセンシャル生物学Ⅰ	1前	2				1				
	生物学基礎	1前		2			1				
	基礎微生物学	1前		2							兼2
	エッセンシャル動物科学	1前		2							兼7
	エッセンシャル生物学Ⅱ	1後	2								兼1
	遺伝子工学	1後	2								兼1
	植物科学概論	1後		2							兼1
	多様性生物学概論	1後		2							兼1
	遺伝学概論	2前	2								兼3
	生命倫理・研究倫理	2前	2								兼5
	小計（10科目）	-	10	10	0	1	1	0	0	0	兼13
実験系	自然科学基礎実験Ⅰ	1前	3				2	1		1	兼5
	自然科学基礎実験Ⅱ	1後	3				2	1		1	兼5
	応用実験Ⅰ（物質系）	2前	1				1				兼1
	応用実験Ⅰ（DNA系）	2前	1								兼1
	応用実験Ⅰ（タンパク質系）	2前	1				1				兼1
	応用実験Ⅰ（微生物系）	2前	1				1				
	応用実験Ⅰ（動物系）	2前	1					1			兼2
	応用実験Ⅱ（物質系）	2後	1				1				兼1
	応用実験Ⅱ（DNA系）	2後	1								兼1
	応用実験Ⅱ（タンパク質系）	2後	1				1			1	兼2
	応用実験Ⅱ（動物系）	2後	1				1				兼2
	応用実験Ⅱ（情報系）	2後	1				1				兼2
	小計（12科目）	-	18	0	0	3	3	0	1	0	兼9
育自立的教	バイオ実験夢チャレンジⅠ	1前			1	1					
	バイオ実験夢チャレンジⅡ	1後			1	1					兼2
	小計（2科目）	-	0	0	2	1	0	0	0	0	兼2

【令和3年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
学部 共通	数 理 科 学 系	数理科学Ⅰ	1前	2								兼1
		数理科学Ⅱ	1後		2							兼2
		数理科学Ⅲ	1後		2							兼1
		数理科学Ⅳ	2前		2							兼1
		数理科学Ⅴ	2後		2							兼1
		線形代数学	1前		2							兼1
		数学基礎演習Ⅰ（基礎解析）	1前		1							兼2
		数学基礎演習Ⅱ（微分積分）	1後		1							兼1
		解析学	2後		2							兼1
	小計（9科目）	-	2	14	0	0	0	0	0	0	兼6	
	物 質 科 学 系	化学基礎	1前	2			1	1				兼4
		エッセンシャル生化学Ⅰ	1前	2			1	0				
		エッセンシャル生化学Ⅱ	1後	2				1				
		エッセンシャル化学Ⅰ	1後	2			1	0				兼2
		エッセンシャル化学Ⅱ	2前		2							兼2
		安全学	2前		2							兼1
		機器分析概論	2前		2							兼2
		有機化学	2後		2							兼1
		小計（8科目）	-	8	8	0	2	2	0	0	0	兼6
情 報 系	コンピュータ基礎実習	1前		1		1			1		兼1	
	コンピュータ応用実習	1後	1				0		1		兼4	
	生命情報科学概論	2前		2							兼2	
	生命情報科学実習	2前		1			0				兼2	
	小計（4科目）	-	1	4	0	1	0	0	1	0	兼5	
生 命 科 学 系	エッセンシャル生物学Ⅰ	1前	2			1						
	生物学基礎	1前		2			1					
	基礎微生物学	1前		2							兼2	
	エッセンシャル動物科学	1前		2							兼9	
	エッセンシャル生物学Ⅱ	1後	2								兼1	
	遺伝子工学	1後	2								兼1	
	植物科学概論	1後		2							兼1	
	多様性生物学概論	1後		2							兼3	
	遺伝学概論	2前	2								兼1	
	生命倫理・研究倫理	2前	2			2	0				兼9	
	小計（10科目）	-	10	10	0	3	1	0	0	0	兼17	
実 験 系	自然科学基礎実験Ⅰ	1前	3			3	0		2	4	兼11	
	自然科学基礎実験Ⅱ	1後	3			3	0		2	4	兼7	
	応用実験Ⅰ（物質系）	2前	1			1					兼2	
	応用実験Ⅰ（DNA系）	2前	1							2	兼1	
	応用実験Ⅰ（タンパク質系）	2前	1			1			2		兼2	
	応用実験Ⅰ（微生物系）	2前	1			1				2	兼1	
	応用実験Ⅰ（動物系）	2前	1				0				兼3	
	応用実験Ⅱ（物質系）	2後	1			1					兼2	
	応用実験Ⅱ（DNA系）	2後	1							2	兼1	
	応用実験Ⅱ（タンパク質系）	2後	1			1			2		兼1	
	応用実験Ⅱ（動物系）	2後	1			1				2	兼2	
	応用実験Ⅱ（情報系）	2後	1			1	0		1		兼4	
	小計（12科目）	-	18	0	0	4	0	0	3	4	兼18	
育 自 立 的 教	バイオ実験夢チャレンジⅠ	1前			1	0					兼2	
	バイオ実験夢チャレンジⅡ	1後			1	0					兼2	
	小計（2科目）	-	0	0	2	0	0	0	0	0	兼2	

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・素担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門プログラム	医療情報系	コンピュータ・グラフィックス実習	1前		1		1					兼1
		人工知能入門	1後		1		1					兼1
		人工知能の理論と実践	2前		1		1					兼1
		A I ロボット製作実習	2後		1		1					兼1
		医療のための情報工学概論Ⅰ	2前		2							兼1
		医療のための情報工学概論Ⅱ	2後		2							兼1
		医用データベース技術Ⅰ	2前		1					1		兼1
		医用データベース技術Ⅱ	2後		1					1		兼1
		ゲノム解析学	2後		2			1				
		医用工学概論	2後		2							兼1
		立体解剖学	2後		2		1					兼1
		インシリコ創薬基礎実習	3前	1				1				兼4
		進化生物学	3前		2			1				
		医療情報学概論	3後		2		1					
		インシリコ創薬応用実習	3後		1			1				兼3
	小計（15科目）	-	1	21	0	2	1	0	1	0	兼6	
	医科学系	実験動物学	1後		2							兼6
		動物生理学	2前		2							兼1
		組織学	2前		2							兼1
		医学概論	2前		2							兼2
		栄養学	2前		2			1				
		神経科学	2後		2							兼1
		食品衛生学	2後		2		1					兼1
		動物系統分類学	2後		2							兼1
		動物生殖発生学	2後		2							兼2
		免疫学	3前		2							兼2
		病原ウイルス学	3前		2		1					
		公衆衛生学	3前		2							兼1
		病理学	3前		4							兼5
		細胞工学	3前		2							兼1
		発生生物学	3前		2							兼2
	薬理学	3後		2							兼1	
	小計（16科目）	-	0	34	0	1	1	0	0	0	兼17	
	創薬科学系	医薬分子機能学	2後		2			1				
		生体高分子解析学	2後		2							兼1
		放射線概論	2後		2		1					
		創薬科学概論	3前		2		1					
		タンパク質工学	3前		2			2				
		生理活性物質概論	3前		2			1				
		構造生物学	3後		2							兼1
		生体材料工学	3後		2			1				兼1
		小計（8科目）	-	0	16	0	2	3	0	0	0	兼2
	専門実験系	M専門実験ⅠA（医科学系）	3前	3			2	4				
		M専門実験ⅠB（創薬科学系）	3後	3			2	4				
		M専門実験ⅡA（医科学系）	3前	3			1	5				
		M専門実験ⅡB（創薬科学系）	3後	3			1	5				
小計（4科目）		-	12	0	0	2	5	0	0	0	0	
専門総合系	文献調査・講読	4通	2			3	6					
	卒業研究	4通	8			3	6					
	小計（2科目）	-	10	0	0	3	6	0	0	0	0	
科教特目育定	特殊講義（単位互換）	-	-									
	小計（-科目）	-	-			-	-	-	-	-	-	
合計（136科目）			-	80	171	4	8	6	0	2	0	兼62
卒業要件及び履修方法												
卒業には、所定の在学期間を満たし、各科目区分ごとに定める必要単位の合計122単位に加え、すべてのプログラムのいずれかの系統から6単位以上を選択履修し、合計128単位以上を修得しなければならない。なおこの6単位以上の履修には、他学科受講科目の単位を含めることが出来る。（履修科目の登録の上限：48単位（年間））												

【令和3年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門プログラム	医療情報系	コンピュータ・グラフィックス実習	1前		1		1						兼0
		人工知能入門	1後		1		1						兼0
		人工知能の理論と実践	2前		1		1						兼0
		A I ロボット製作実習	2後		1		1						兼0
		医療のための情報工学概論Ⅰ	2前		2		1						兼1
		医療のための情報工学概論Ⅱ	2後		2		1						兼0
		医用データベース技術Ⅰ	2前		1		1			1			兼0
		医用データベース技術Ⅱ	2後		1		1			1			兼0
		ゲノム解析学	2後		2		1	0					兼1
		医用工学概論	2後		2								兼1
		立体解剖学	2後		2		1						兼1
		インシリコ創薬基礎実習	3前	1			1	0					兼3
		進化生物学	3前		2		1	0					
		医療情報学概論	3後		2		1						
		インシリコ創薬応用実習	3後		1		1	0					兼2
	小計（15科目）	-	1	21	0	3	0	0	1	0		兼6	
	医科学系	実験動物学	1後		2								兼6
		動物生理学	2前		2								兼1
		組織学	2前		2								兼1
		医学概論	2前		2								兼7
		栄養学	2前		2		1	0					
		神経科学	2後		2								兼1
		食品衛生学	2後		2		1						兼1
		動物系統分類学	2後		2								兼1
		動物生殖発生学	2後		2								兼2
		免疫学	3前		2								兼9
		病原ウイルス学	3前		2		1						
		公衆衛生学	3前		2								兼1
		病理学	3前		4								兼6
		細胞工学	3前		2								兼1
		発生生物学	3前		2								兼2
	薬理学	3後		2								兼1	
	小計（16科目）	-	0	34	0	2	0	0	0	0		兼27	
	創薬科学系	医薬分子機能学	2後		2		1	0					
		生体高分子解析学	2後		2								兼1
		放射線生物学	2後		2		1						
		創薬科学概論	3前		2		1						
		タンパク質工学	3前		2			2					
		生理活性物質概論	3前		2			1					
		構造生物学	3後		2								兼1
		生体材料工学	3後		2			1					兼1
		小計（8科目）	-	0	16	0	3	2	0	0	0		兼2
	専門実験系	M専門実験Ⅰ A（医科学系）	3前	3			2	2			2		
		M専門実験Ⅰ B（創薬科学系）	3前	3			2	1		2			
		M専門実験Ⅱ A（医科学系）	3後	3			2	2			2		
		M専門実験Ⅱ B（創薬科学系）	3後	3			2	1		2			
小計（4科目）		-	12	0	0	4	3	0	2	2	0		
専門総合系	文献調査・講読	4通	2			7	3						
	卒業研究	4通	8			7	3						
	小計（2科目）	-	10	0	0	7	3	0	0	0	0		
科教特目育定	特殊講義（単位互換）	1・2・3・4期		-									
	小計（-科目）	-		-		-	-	-	-	-	-		
合計（138科目）			-	80	174	4	11	3	1	3	4	兼73	
卒業要件及び履修方法													
卒業には、所定の在学期間を満たし、各科目区分ごとに定める必要単位の合計122単位に加え、すべてのプログラムのいずれかの系統から6単位以上を選択履修し、合計128単位以上を修得しなければならない。なおこの6単位以上の履修には、他学科受講科目の単位を含めることが出来る。（履修科目の登録の上限：48単位（年間））													

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
語 学 系	一般英語Ⅰ	1前	2			1					兼3
	一般英語Ⅱ	1後	2			1					兼3
	科学英語Ⅰ	2前	2			1					兼3
	科学英語Ⅱ	2後	2			1					兼3
	科学英語Ⅲ	3・4前		2							兼1
	科学英語Ⅳ	3・4後		2							兼1
	英語多読Ⅰ	1・2前		2		1					兼0
	英語多読Ⅱ	1・2後		2		1					兼0
	英会話Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
	英会話Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
	TOEIC講座Ⅰ	3・4前		2							兼1
	TOEIC講座Ⅱ	3・4後		2							兼1
	英文法Ⅰ	1・2・3・4前		1							兼1
	英文法Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼1
	海外英語研修	2・3・4後			1	1					兼0
	小計（15科目）	-	8	18	1	0	1	0	0	0	兼5
	言語表現Ⅰ	1前	2								兼2
	言語表現Ⅱ	1後	2								兼2
	日本語Ⅰ（留学生）	1前		1							兼1
	日本語Ⅱ（留学生）	1後		1							兼1
	小計（4科目）	-	4	2	0	0	0	0	0	0	兼2
学 部 共 通	科学技術論	1前		2							兼1
	サイエンスイノベーション入門	1前	2			1	3				兼5
	健康保健学	1前		2							兼1
	社会学	1前		2							兼1
	現代の政治と社会	1前		2							兼1
	哲学	1前		2							兼1
	世界史	1前		2							兼1
	心理学	1前		2							兼1
	経済学	1後		2							兼1
	法学（日本国憲法）	1後		2							兼1
	データ解析学	2前		2							兼2
	文学	2前		2							兼1
	日本の歴史と文化	2前		2							兼1
	おうみ学生未来塾	2後		2		1					兼1
	近江の文化と歴史	2後		2							兼1
	小計（15科目）	-	2	28	0	2	3	0	0	0	兼19
キ ャ リ ア 教 育 系 ／ ビ ジ ネ ス 教 育 系	大学での学びと実践方法Ⅰ	1前	2			1	4		1		兼13
	大学での学びと実践方法Ⅱ	1後	2			1					兼0
	社風発見インターンシップ	1後		1		1					兼0
	長浜魅力づくりプロジェクト	2通		2		1					兼0
	バイオビジネス概論	2前		2		2					兼0
	化学工学基礎	2後		2		1					兼0
	マーケティング戦略の立案	2後		1		1					兼0
	工学デザイン概論	2前		2		1					兼0
	社会との関わりとキャリアパス	3前		2		1					兼0
	生物工学システム	3前		2			1				兼1
	インターンシップ実習	3後			1						兼1
数 理 科 学 系	バイオ産業論	3後		2		1					兼0
	生産管理システム	3後		1			2				兼2
	小計（13科目）	-	4	17	1	3	4	0	1	0	兼16
	数理科学Ⅰ	1前	2								兼1
	数理科学Ⅱ	1後		2							兼2
	数理科学Ⅲ	1後		2							兼1
	数理科学Ⅳ	2前		2							兼1
	数理科学Ⅴ	2後		2							兼1
	線形代数学	1前		2							兼1
	数学基礎演習Ⅰ（基礎解析）	1前		1							兼2
	数学基礎演習Ⅱ（微分積分）	1後		1							兼1
	解析学	2後		2							兼1
	小計（9科目）	-	2	14	0	0	0	0	0	0	兼6

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
語 学 系	一般英語Ⅰ	1前	2				0	1			兼3
	一般英語Ⅱ	1後	2				0	1			兼3
	科学英語Ⅰ	2前	2				0	1			兼3
	科学英語Ⅱ	2後	2				0	1			兼3
	科学英語Ⅲ	3・4前		2							兼1
	科学英語Ⅳ	3・4後		2							兼1
	英語多読Ⅰ	1・2前		2			0	1			兼0
	英語多読Ⅱ	1・2後		2			0	1			兼0
	英会話Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
	英会話Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
	TOEIC講座Ⅰ	3・4前		2							兼1
	TOEIC講座Ⅱ	3・4後		2							兼1
	英文法Ⅰ	1・2・3・4前		1							兼1
	英文法Ⅱ	1・2・3・4後		1							兼1
	海外英語研修(未開講)	2・3・4後			1		0	1			兼0
	小計（15科目）	-	8	18	1	0	0	1	0	0	兼5
	言語表現Ⅰ	1前	2								兼2
	言語表現Ⅱ	1後	2								兼2
	日本語Ⅰ（留学生）	1前		1							兼1
	日本語Ⅱ（留学生）	1後		1							兼1
	小計（4科目）	-	4	2	0	0	0	0	0	0	兼2
学 部 共 通	科学技術論	1前		2							兼1
	サイエンスイノベーション入門	1前	2			2	2				兼5
	健康保健学	1前		2							兼1
	社会学	1前		2							兼1
	現代の政治と社会	1前		2							兼1
	哲学	1前		2							兼1
	世界史	1前		2							兼1
	心理学	1前		2							兼1
	経済学	1後		2							兼1
	法学（日本国憲法）	1後		2							兼1
	データ解析学	2前		2							兼2
	文学	2前		2							兼1
	日本の歴史と文化	2前		2							兼1
	おうみ学生未来塾	2後		2		1					兼1
	近江の文化と歴史	2後		2							兼1
	小計（15科目）	-	2	28	0	3	2	0	0	0	兼19
キ ャ リ ア 教 育 系 ／ ビ ジ ネ ス 教 育 系	大学での学びと実践方法Ⅰ	1前	2			2	3		2		兼12
	大学での学びと実践方法Ⅱ	1後	2			1					兼0
	社風発見インターンシップ	1後		1		1					兼0
	長浜魅力づくりプロジェクト	2通		2		1					兼0
	バイオビジネス概論	2前		2		3					兼0
	化学工学基礎	2後		2		1					兼0
	マーケティング戦略の立案	2後		1		1					兼0
	工学デザイン概論	2前		2		1					兼0
	社会との関わりとキャリアパス	3前		2		1					兼0
	生物工学システム	3前		2			1				兼1
	インターンシップ実習	3後			1						兼1
数 理 科 学 系	バイオ産業論	3後		2		1					兼0
	生産管理システム	3後		1			2				兼2
	小計（13科目）	-	4	17	1	5	3	0	2	0	兼15
	数理科学Ⅰ	1前	2								兼1
	数理科学Ⅱ	1後		2							兼2
	数理科学Ⅲ	1後		2							兼1
	数理科学Ⅳ	2前		2							兼1
	数理科学Ⅴ	2後		2							兼1
	線形代数学	1前		2							兼1
	数学基礎演習Ⅰ（基礎解析）	1前		1							兼2
	数学基礎演習Ⅱ（微分積分）	1後		1							兼1
	解析学	2後		2							兼1
	小計（9科目）	-	2	14	0	0	0	0	0	0	兼6

【令和元年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部 共通	物質 科学 系	化学基礎	1前	2				2					兼4
		エッセンシャル生化学Ⅰ	1前	2				1					
		エッセンシャル生化学Ⅱ	1後	2				1					
		エッセンシャル化学Ⅰ	1後	2				1					兼2
		エッセンシャル化学Ⅱ	2前		2								兼2
		安全学	2前		2								兼1
		機器分析概論	2前		2								兼2
		有機化学	2後		2								兼1
	小計（8科目）	-	8	8	0	0	4	0	0	0	0	兼6	
	情報 系	コンピュータ基礎実習	1前		1								兼2
		コンピュータ応用実習	1後	1				0		1			兼4
		生命情報科学概論	2前		2								兼2
		生命情報科学実習	2前		1			0					兼2
		小計（4科目）	-	1	4	0	0	0	0	1	0	兼6	
	生命 科学 系	エッセンシャル生物学Ⅰ	1前	2			1						
		生物学基礎	1前		2			1					兼2
		基礎微生物学	1前		2								兼9
		エッセンシャル動物科学	1前		2								兼1
		エッセンシャル生物学Ⅱ	1後	2									兼1
		遺伝子工学	1後	2									兼1
		植物科学概論	1後		2								兼1
		多様性生物学概論	1後		2								兼3
		遺伝学概論	2前		2								兼3
		生命倫理・研究倫理	2前	2			3	1					兼8
		小計（10科目）	-	10	10	0	4	2	0	0	0	0	兼16
	実 験 系	自然科学基礎実験Ⅰ	1前	3			3	0		1			兼8
		自然科学基礎実験Ⅱ	1後	3			3	0		1			兼6
		応用実験Ⅰ（物質系）	2前	1			1						兼1
		応用実験Ⅰ（DNA系）	2前	1									兼1
		応用実験Ⅰ（タンパク質系）	2前	1			1						兼1
		応用実験Ⅰ（微生物系）	2前	1			1						兼2
		応用実験Ⅰ（動物系）	2前	1				0					兼3
		応用実験Ⅱ（物質系）	2後	1			2						兼1
		応用実験Ⅱ（DNA系）	2後	1									兼1
		応用実験Ⅱ（タンパク質系）	2後	1			1			0			
		応用実験Ⅱ（動物系）	2後	1			1						兼1
応用実験Ⅱ（情報系）		2後	1			1						兼4	
小計（12科目）		-	18	0	0	4	1	0	1	0	0	兼15	
教 育 系	バイオ実験夢チャレンジⅠ	1前			1	1						兼2	
	バイオ実験夢チャレンジⅡ	1後			1	1						兼2	
	小計（2科目）	-	0	0	2	1	0	0	0	0	0	兼2	
医 療 情 報 系	医 療 情 報 系	コンピュータ・グラフィックス実習	1前		1		1						兼0
		人工知能入門	1後		1		1						兼0
		人工知能の理論と実践	2前		1		1						兼0
		A I ロボット製作実習	2後		1		1						兼0
		医療のための情報工学概論Ⅰ	2前		2		1						兼1
		医療のための情報工学概論Ⅱ	2後		2		1						兼0
		医用データベース技術Ⅰ	2前		1		1			1			兼0
		医用データベース技術Ⅱ	2後		1		1			1			兼0
		ゲノム解析学	2後		2			1					
		医用工学概論	2後		2								兼1
		立体解剖学	2後		2		1						兼1
		インシリコ創薬基礎実習	3前	1			1						兼3
		進化生物学	3前		2		1						
		医療情報学概論	3前		2		1						
		インシリコ創薬応用実習	3後		1		1						兼2
		小計（15科目）	-	1	21	0	2	1	0	1	0	0	兼6

【令和2年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
学部 共通	物質 科学 系	化学基礎	1前	2				2					兼4	
		エッセンシャル生化学Ⅰ	1前	2			1	0						
		エッセンシャル生化学Ⅱ	1後	2				1						
		エッセンシャル化学Ⅰ	1後	2			1	0					兼2	
		エッセンシャル化学Ⅱ	2前		2								兼2	
		安全学	2前		2								兼1	
		機器分析概論	2前		2								兼2	
		有機化学	2後		2								兼1	
	小計（8科目）		-	8	8	0	1	3	0	0	0		兼6	
	情報 系	コンピュータ基礎実習	1前		1								兼2	
		コンピュータ応用実習	1後	1				0			1		兼4	
		生命情報科学概論	2前		2								兼2	
		生命情報科学実習	2前		1			0					兼2	
		小計（4科目）		-	1	4	0	0	0	0	1	0	兼6	
	生命 科学 系	エッセンシャル生物学Ⅰ	1前	2			1							
		生物学基礎	1前		2			1						
		基礎微生物学	1前		2								兼2	
		エッセンシャル動物科学	1前		2								兼10	
		エッセンシャル生物学Ⅱ	1後	2									兼1	
		遺伝子工学	1後	2									兼1	
		植物科学概論	1後		2								兼1	
		多様性生物学概論	1後		2								兼3	
		遺伝学概論	2前		2								兼1	
		生命倫理・研究倫理	2前		2		2	0					兼10	
		小計（10科目）		-	10	10	0	3	1	0	0	0		兼18
	実験 系	自然科学基礎実験Ⅰ	1前	3				3	0			2		兼9
		自然科学基礎実験Ⅱ	1後	3				3	0			2		兼7
		応用実験Ⅰ（物質系）	2前	1				1						兼1
		応用実験Ⅰ（DNA系）	2前	1										兼1
		応用実験Ⅰ（タンパク質系）	2前	1				1						兼1
		応用実験Ⅰ（微生物系）	2前	1				1						兼2
		応用実験Ⅰ（動植物系）	2前	1					0					兼3
		応用実験Ⅱ（物質系）	2後	1				1						兼1
		応用実験Ⅱ（DNA系）	2後	1										兼1
		応用実験Ⅱ（タンパク質系）	2後	1				1				0		
		応用実験Ⅱ（動植物系）	2後	1				1						兼3
応用実験Ⅱ（情報系）		2後	1				1	0			1		兼4	
小計（12科目）		-	18	0	0	4	0	0	3	0		兼18		
教 育 系	バイオ実験夢チャレンジⅠ	1前			1	0						兼3		
	バイオ実験夢チャレンジⅡ	1後			1	0						兼3		
	小計（2科目）		-	0	0	2	0	0	0	0	0		兼3	
医 療 情 報 系	コンピュータ・グラフィックス実習	1前		1		1							兼0	
	人工知能入門	1後		1		1							兼0	
	人工知能の理論と実践	2前		1		1							兼0	
	A I ロボット製作実習	2後		1		1							兼0	
	医療のための情報工学概論Ⅰ	2前		2		1							兼1	
	医療のための情報工学概論Ⅱ	2後		2		1							兼0	
	医用データベース技術Ⅰ	2前		1		1				1			兼0	
	医用データベース技術Ⅱ	2後		1		1				1			兼0	
	ゲノム解析学	2後		2		1	0							
	医用工学概論	2後		2									兼1	
	立体解剖学	2後		2		1							兼1	
	インシリコ創薬基礎実習	3前	1			1	0						兼3	
	進化生物学	3前		2		1	0							
	医療情報学概論	3後		2		1								
	インシリコ創薬応用実習	3後		1		1	0						兼2	
	小計（15科目）		-	1	21	0	3	0	0	1	0		兼6	

【令和元年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 ブ ロ グ ラ ム	医 科 学 系	実験動物学	1後		2								兼6
		動物生理学	2前		2								兼1
		組織学	2前		2								兼1
		医学概論	2前		2								兼3
		栄養学	2前		2			1					
		神経科学	2後		2								兼1
		食品衛生学	2後		2		1						兼1
		動物系統分類学	2後		2								兼1
		動物生殖発生学	2後		2								兼2
		免疫学	3前		2								兼8
		病原ウイルス学	3前		2		1						
		公衆衛生学	3前		2								兼1
	病理学	3前		4								兼5	
	細胞工学	3前		2								兼1	
	発生生物学	3前		2								兼3	
	薬理学	3後		2								兼1	
	小計（16科目）	-	0	34	0	1	1	0	0	0		兼23	
	創 薬 科 学 系	医薬分子機能学	2後		2			1					
		生体高分子解析学	2後		2								兼1
		放射線生物学	2後		2		1						
		創薬科学概論	3前		2		1						
		タンパク質工学	3前		2			2					
		生理活性物質概論	3前		2			1					
		構造生物学	3後		2								兼1
		生体材料工学	3後		2			1					兼1
	小計（8科目）	-	0	16	0	2	3	0	0	0		兼2	
専 門 実 験 系	M専門実験ⅠA（医科学系）	3前	3			1	3						
	M専門実験ⅠB（創薬科学系）	3前	3			1	2		1				
	M専門実験ⅡA（医科学系）	3後	3			1	3						
	M専門実験ⅡB（創薬科学系）	3後	3			1	2		1				
	小計（4科目）	-	12	0	0	2	5	0	1	0	0		
門 総 合 系	文献調査・講読	4通	2			3	6						
	卒業研究	4通	8			3	6						
	小計（2科目）	-	10	0	0	3	6	0	0	0	0		
科 教 特 目 育 定	特殊講義（単位互換）	1・2・3・4後		-									
	小計（-科目）	-		-		-	-	-	-	-	-		
合計（137科目）			-	80	172	4	9	7	0	2	0	兼67	
卒業要件及び履修方法													
卒業には、所定の在学期間を満たし、各科目区分ごとに定める必要単位の合計122単位に加え、すべてのプログラムのいずれかの系統から6単位以上を選択履修し、合計128単位以上を修得しなければならない。なおこの6単位以上の履修には、他学科受講科目の単位を含めることが出来る。（履修科目の登録の上限：48単位（年間））													

【令和2年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 ブ ロ グ ラ ム	医 科 学 系	実験動物学	1後		2								兼6
		動物生理学	2前		2								兼1
		組織学	2前		2								兼2
		医学概論	2前		2								兼4
		栄養学	2前		2			1					
		神経科学	2後		2								兼1
		食品衛生学	2後		2		1						兼1
		動物系統分類学	2後		2								兼1
		動物生殖発生学	2後		2								兼3
		免疫学	3前		2								兼8
		病原ウイルス学	3前		2		1						
		公衆衛生学	3前		2								兼1
		病理学	3前		4								兼5
		細胞工学	3前		2								兼1
		発生生物学	3前		2								兼3
		薬理学	3後		2								兼1
	小計（16科目）	-	0	34	0	1	1	0	0	0		兼25	
	創 薬 科 学 系	医薬分子機能学	2後		2		1	0					
		生体高分子解析学	2後		2								兼1
		放射線生物学	2後		2		1						
		創薬科学概論	3前		2		2						
		タンパク質工学	3前		2			2					
		生理活性物質概論	3前		2			1					
		構造生物学	3後		2								兼1
		生体材料工学	3後		2			1					兼1
	小計（8科目）	-	0	16	0	4	2	0	0	0		兼2	
専 門 実 験 系	M専門実験ⅠA（医科学系）	3前	3			1	3						
	M専門実験ⅠB（創薬科学系）	3前	3			2	1		2				
	M専門実験ⅡA（医科学系）	3後	3			1	3						
	M専門実験ⅡB（創薬科学系）	3後	3			2	1		2				
	小計（4科目）	-	12	0	0	3	4	0	2	0	0		
門 総 合 系	文献調査・講読	4通	2			6	4						
	卒業研究	4通	8			6	4						
	小計（2科目）	-	10	0	0	6	4	0	0	0	0		
科 教 特 目 育 定	特殊講義（単位互換）	1・2・3・4後		-									
	小計（-科目）	-		-		-	-	-	-	-	-		
合計（137科目）			-	80	172	4	11	4	1	3	0		兼72
卒業要件及び履修方法													
卒業には、所定の在学期間を満たし、各科目区分ごとに定める必要単位の合計122単位に加え、すべてのプログラムのいずれかの系統から6単位以上を選択履修し、合計128単位以上を修得しなければならない。なおこの6単位以上の履修には、他学科受講科目の単位を含めることが出来る。（履修科目の登録の上限：48単位（年間））													

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・専任教員が定年退職前であるため、「一般英語Ⅰ」「一般英語Ⅱ」「科学英語Ⅰ」「科学英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼４」から「准教授１」「兼３」に変更。
- ・専任教員が定年退職前であるため、「英語多読Ⅰ」「英語多読Ⅱ」「海外英語研修」の専任教員等の配置を「兼１」から「准教授１」に変更。
- ・近年、データサイエンス分野だけでなくバイオサイエンス分野でも大きなイノベーションが起き、急速に社会に浸透してきている。そこで、科目名称を「データサイエンス入門」から「サイエンスイノベーション入門」へ変更し、データサイエンスに加えゲノム編集や再生医療なども対象とすることとした。対象分野を広げたため、専任教員等の配置を「兼１」から「教授１」「准教授３」「兼５」に変更。
- ・専門性をより深く学生に教授するために「データ解析学」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼２」に追加配置。
- ・専任教員が退職前であるため、「おうみ学生未来塾」の専任教員等の配置を、「兼２」から「教授１」「兼１」に変更。
- ・学生に情報収集・分析、課題発見・解決するための思考力・表現力をつけるために「大学での学びと実践方法Ⅰ」ではグループワークを導入している。より少人数でのグループ配置が効果的だと判断し、「准教授３」「兼１０」から「教授１」「准教授４」「助教１」「兼１３」に追加配置。
- ・専任教員が退職前であるため、「大学での学びと実践方法Ⅱ」「社風発見インターンシップ」「長浜魅力づくりプロジェクト」「マーケティング戦略の立案」「社会との関わりとキャリアパス」「バイオ産業論」の専任教員等の配置を「兼１」から「教授１」に変更。
- ・専任教員が退職前であるため、「バイオビジネス概論」の専任教員等の配置を「兼２」から「教授２」に変更。
- ・企業における効率的な生産管理を理解することを学ぶために「生産管理システム」を新規科目として設置。配当年次３後、１単位、「准教授２」「兼２」を配置。
- ・「数理科学Ⅴ」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼１」に修正。
- ・履修受講を希望する学生が多いため、より丁寧な指導を目的として「コンピュータ基礎実習」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼２」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちに効果的に習得してもらうために「コンピュータ応用実習」の専任教員等の配置を「准教授１」「兼５」から「助教１」「兼４」に変更。
- ・高いプログラミングの知識と技術を深く教授するために「生命情報科学実習」の専任教員等の配置を「准教授１」「兼３」から「兼２」に変更。
- ・学生がより幅広い動物科学の知識を効果的に習得できるように「エッセンシャル動物科学」の専任教員等の配置を「兼７」から「兼９」に追加配置。
- ・学生がより幅広い知識を履修できるように「多様性生物学概論」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼３」に追加配置。
- ・近年の生命倫理・研究倫理の重要性とその広がりから「生命倫理・研究倫理」の専任教員等の配置を「兼５」から「教授３」「准教授１」「兼８」に追加配置。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「自然科学基礎実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２」「准教授１」「助教１」「兼５」から「教授３」「助教１」「兼８」に追加配置。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「自然科学基礎実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２」「准教授１」「助教１」「兼５」から「教授３」「助教１」「兼６」に追加配置。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅰ（動植物系）」の専任教員等の配置を「准教授１」「兼２」から「兼３」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅱ（物質系）」の専任教員等の配置を「教授１」「兼１」から「教授２」「兼１」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実験補助員を多数配置する予定のため、「応用実験Ⅱ（タンパク質系）」の専任教員等の配置を「教授１」「助教１」から「教授１」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実験補助員を多数配置する予定のため、「応用実験Ⅱ（動植物系）」の専任教員等の配置を「教授１」「兼２」から「教授１」「兼１」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅱ（情報系）」の専任教員等の配置を「准教授１」「兼２」から「准教授１」「兼４」に追加配置。
- ・学生により丁寧な指導をするために、「バイオ実験夢チャレンジ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授１」「兼２」に追加配置。
- ・兼任講師の就任延期のため、「コンピュータ・グラフィックス実習」「人工知能入門」「人工知能の理論と実践」「ＡＩロボット製作実習」の専任教員等の配置を「教授１」「兼１」から「教授１」に変更。
- ・専門的知識をより効果的に教授するために「医療のための情報工学概論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１」から「教授１」「兼１」に変更。
- ・専門的知識をより効果的に教授するために「医療のための情報工学概論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼１」から「教授１」に変更。
- ・専門的知識をより効果的に教授するために「医用データベース技術Ⅰ」「医用データベース技術Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教１」「兼１」から「教授１」「助教１」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実習補助員を多数配置する予定のため、「インシリコ創薬基礎実習」の専任教員等の配置を「准教授１」「兼４」から「准教授１」「兼３」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実習補助員を多数配置する予定のため、「インシリコ創薬応用実習」の専任教員等の配置を「准教授１」「兼３」から「准教授１」「兼２」に変更。
- ・学生がより幅広い知識を履修できるように「医学概論」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼３」に追加配置。
- ・専門性をより深く教授するために「免疫学」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼８」に追加配置。
- ・専門性をより深く教授するために「発生生物学」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼３」に追加配置。
- ・生物に対する放射線の影響が中心となる講義内容であることから「放射線概論」の名称を「放射線生物学」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実験補助員を多数配置する予定のため、「Ｍ専門実験ⅠＡ（医科学系）」の専任教員等の配置を「教授２」「准教授４」から「教授１」「准教授３」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「Ｍ専門実験ⅠＢ（創薬科学系）」の配当年次を３後から３前に変更。また、実験補助員を多数配置する予定のため、専任教員等の配置を「教授２」「准教授４」から「教授１」「准教授２」「助教１」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「Ｍ専門実験ⅡＡ（医科学系）」の配当年次を３前から３後に変更。また、実験補助員を多数配置する予定のため、専任教員等の配置を「教授１」「准教授５」から「教授１」「准教授３」に変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実験補助員を多数配置する予定のため、「Ｍ専門実験ⅡＢ（創薬科学系）」の専任教員等の配置を「教授１」「准教授５」から「教授１」「准教授２」「助教１」に変更。

【令和２年度】

- ・専任教員が定年退職し、後任者が着任したので、「一般英語Ⅰ」「一般英語Ⅱ」「科学英語Ⅰ」「科学英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」「兼Ⅲ」から「講師Ⅰ」「兼Ⅲ」に変更。
- ・専任教員が定年退職し、後任者が着任したので、「英語多読Ⅰ」「英語多読Ⅱ」「海外英語研修」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「講師Ⅰ」に変更。
- ・科目担当者の昇任により、「サイエンスイノベーション入門」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ」「准教授Ⅲ」「兼Ⅴ」から「教授Ⅱ」「准教授Ⅱ」「兼Ⅴ」へ変更。
- ・科目担当者の昇任、専任教員の産休代替により「大学での学びと実践方法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ」「准教授Ⅳ」「助教Ⅰ」「兼ⅠⅢ」から「教授Ⅱ」「准教授Ⅲ」「助教Ⅱ」「兼ⅠⅡ」に追加配置。
- ・専任教員が退職し、後任者が着任、また退職した教員が兼任として科目を担当することになり、「バイオビジネス概論」の専任教員等の配置を、「教授Ⅱ」から「教授Ⅱ」「兼Ⅰ」と配置。
- ・科目担当者の昇任により、「エッセンシャル生化学Ⅰ」「エッセンシャル化学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」へ変更。
- ・専門性をより深く学生に教授するために「エッセンシャル動物科学」の専任教員等の配置を「兼Ⅸ」から「兼ⅠⅦ」へ追加配置。
- ・専門の教員の任用により、「遺伝学概論」の専任教員等の配置を「兼Ⅲ」から「兼Ⅰ」へ変更。
- ・専任教員の定年退職により、「生命倫理・研究倫理」の専任教員等の配置を「教授Ⅲ」「准教授Ⅰ」「兼Ⅷ」から「教授Ⅱ」「准教授Ⅶ」「兼ⅠⅦ」へ変更。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「自然科学基礎実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授Ⅲ」「助教Ⅰ」「兼Ⅷ」から「教授Ⅲ」「助教Ⅱ」「兼Ⅸ」へ追加配置。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「自然科学基礎実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授Ⅲ」「助教Ⅰ」「兼Ⅵ」から「教授Ⅲ」「助教Ⅱ」「兼Ⅶ」へ追加配置。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「応用実験Ⅰ（微生物系）」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ」「兼Ⅶ」から「教授Ⅰ」「兼Ⅱ」へ追加配置。
- ・専任教員が定年退職したことにより「応用実験Ⅱ（物質系）」の専任教員等の配置を「教授Ⅱ」「兼Ⅰ」から「教授Ⅰ」「兼Ⅰ」へ変更。
- ・科目担当者の昇任と、専門的知識と技術を効果的に教授するために「応用実験Ⅱ（情報系）」の専任教員等の配置を「教授Ⅶ」「准教授Ⅰ」「兼Ⅳ」から「教授Ⅰ」「准教授Ⅶ」「助教Ⅰ」「兼Ⅳ」へ追加配置。
- ・専任教員が退職し、退職した教員が兼任として科目を担当することになり、「バイオ実験夢チャレンジⅠ」「バイオ実験夢チャレンジⅡ」の専任教員等の配置を、「教授Ⅰ」「兼Ⅱ」から「教授Ⅶ」「兼Ⅲ」へ変更。
- ・科目担当者の昇任により、「ゲノム解析学」「進化生物学」の専任教員等の配置を「教授Ⅶ」「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」「准教授Ⅶ」へ変更。
- ・科目担当者の昇任により、「インシリコ創薬基礎実習」の専任教員等の配置を「教授Ⅶ」「准教授Ⅰ」「兼Ⅲ」から「教授Ⅰ」「准教授Ⅶ」「兼Ⅲ」へ変更。
- ・科目担当者の昇任により、「インシリコ創薬応用実習」の専任教員等の配置を「教授Ⅶ」「准教授Ⅰ」「兼Ⅱ」から「教授Ⅰ」「准教授Ⅶ」「兼Ⅱ」へ変更。
- ・兼任教員が退職し後任者が着任、退職した教員が兼任として科目を担当することになり、「組織学」の教員の配置を「兼Ⅰ」から「兼Ⅱ」へ追加配置。
- ・専門性をより深く学生に教授するために「医学概論」の教員の配置を「兼Ⅲ」から「兼Ⅳ」へ追加配置。
- ・兼任教員が退職し後任者が着任、退職した教員が兼任として科目を担当することになり、「動物生殖発生学」の教員の配置を「兼Ⅱ」から「兼Ⅲ」へ追加配置。
- ・科目担当者の昇任により「医薬分子機能学」の専任教員等の配置を「教授Ⅶ」「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」「准教授Ⅶ」へ変更。
- ・兼任教員が退職し後任者が着任、退職した教員が兼任として科目を担当することになり、「創薬科学概論」「教授Ⅰ」「兼Ⅶ」から「教授Ⅰ」「兼Ⅰ」へ追加配置。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように、実験補助員を多数配置する予定のため「M専門実験ⅠB（創薬科学系）」「M専門実験ⅡB（創薬科学系）」専任教員等の配置を「教授Ⅰ」「准教授Ⅱ」「助教Ⅰ」から「教授Ⅰ」「准教授Ⅱ」「助教Ⅱ」へ追加配置。
- ・科目担当者の昇任と、専門的知識をより効果的に教授するために「文献調査・講読」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授Ⅲ」「准教授Ⅵ」から「教授Ⅵ」「准教授Ⅳ」へ追加配置。

【令和3年度】

- ・科目担当者の昇任により「サイエンスイノベーション入門」専任教員の配置を「教授2」「准教授2」から「教授3」「准教授1」へ変更。
- ・科目担当者の自己都合による辞任のため「おうみ学生未来塾」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼0」へ変更。
- ・SDGsとは何かを学び、SDGsで掲げる17個の目標とその目標達成への実践例なども学ぶために、「近江でのSDGsの実践」を新規科目として設置し、専任教員等の配置を「兼1」とした。
- ・学生により近い年齢層の教員から、大学での学び方をより理解しやすく教授するため、「大学での学びと実践方法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授3」「助教2」「兼12」から「教授1」「准教授0」「助教3」「兼9」へ変更。
- ・専任教員の定年退職に伴い、より専門分野に詳しい教員の赴任により「バイオビジネス概論」の専任教員の配置を「教授3」から「教授2」へ変更。
- ・科目担当者の昇任により「化学基礎」専任教員の配置を「准教授2」から「教授1」「准教授1」へ変更。
- ・科目担当者の辞任により「コンピュータ基礎実習」の専任教員等の配置を「教授0」「助教0」「兼2」から「教授1」「助教1」「兼1」へ変更。
- ・科目担当者の任期満了により「エッセンシャル動物科学」の専任教員等の配置を「兼10」から「兼9」へ変更。
- ・科目担当者の自己都合による辞任のため「生命倫理・研究倫理」の専任教員等の配置を「教授2」「兼10」から「教授2」「兼9」へ変更。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「自然科学基礎実験Ⅰ」の専任教員等の配置を「助手0」「兼9」から「助手4」「兼11」へ変更。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「自然科学基礎実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「助手0」から「助手4」へ変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅰ（DNA系）」「応用実験Ⅱ（DNA系）」の専任教員等の配置を「助手0」から「助手2」へ変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅰ（物質系）」「応用実験Ⅱ（物質系）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」へ変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅰ（タンパク質系）」の専任教員等の配置を「教授1」「兼1」から「教授1」「助教2」「兼2」へ変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅱ（タンパク質系）」の専任教員等の配置を「教授1」「助教0」「兼0」から「教授1」「助教2」「兼1」へ変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅰ（微生物系）」の専任教員等の配置を「助手0」から「助手2」へ変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「応用実験Ⅱ（動植物系）」の専任教員等の配置を「助手0」から「助手2」へ変更。
- ・科目担当者の任期満了により「応用実験Ⅰ（微生物系）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。
- ・科目担当者の任期満了により「応用実験Ⅱ（動植物系）」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」へ変更。
- ・科目担当者の任期満了により「バイオ実験夢チャレンジⅠ」「バイオ実験夢チャレンジⅡ」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」へ変更。
- ・科目担当者の任期満了により「組織学」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」へ変更。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「医学概論」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼7」へ変更。
- ・科目担当者の昇任により「栄養学」専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」へ変更。
- ・科目担当者の任期満了により「動物生殖発生学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」へ変更。
- ・学生がより幅広い知識を履修できるように「免疫学」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼9」へ変更。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために「病理学」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」へ変更。
- ・科目担当者の任期満了により、「発生生物学」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」へ変更。
- ・科目担当者の任期満了により、「創薬科学概論」の専任教員の配置を「教授2」から「教授1」へ変更。
- ・科目担当者の昇任により「M専門実験ⅠA（医科学系）」専任教員の配置を「教授1」「准教授3」から「教授2」「准教授2」へ変更。
- ・先端知識と技術を学生たちがより効果的に習得できるように「M専門実験ⅠA（医科学系）」「M専門実験ⅡA（医科学系）」の専任教員等の配置を「助手0」から「助手2」へ変更。
- ・「M専門実験ⅠB（創薬科学系）」専任教員の配置を「教授1」「准教授2」「助教2」から「教授2」「准教授1」「助教2」へ変更。
- ・科目担当者の昇任により「M専門実験ⅡA（医科学系）」専任教員の配置を「教授1」「准教授3」から「教授2」「准教授2」へ変更。
- ・「M専門実験ⅡB（創薬科学系）」専任教員の配置を「教授1」「准教授2」「助教2」から「教授2」「准教授1」「助教2」へ変更。
- ・科目担当者の昇任により「文献調査・講読」専任教員の配置を「教授6」「准教授4」から「教授7」「准教授3」へ変更。
- ・科目担当者の昇任により「卒業研究」専任教員の配置を「教授6」「准教授4」から「教授7」「准教授3」へ変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
39 科目	93 科目	4 科目	136 科目	39 科目	95 科目	4 科目	138 科目	・ 企業における効率的な生産管理を理解することを学ぶために「生産管理システム」を新規科目として設置。 ・ SDGsとは何かを学び、SDGsで掲げる17個の目標とその目標達成への実践例なども学ぶために「近江でのSDGsの実践」を新規科目として設置。
				[]	[2]	[]	[2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	海外英語研修	1	2・3・4	一般	選択	新型コロナウイルス感染防止の観点から中止
2	インターンシップ実習	1	3	一般	選択	新型コロナウイルス感染拡大の影響により参加企業が集まらず中止
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

新型コロナウイルス感染防止の観点から海外研修を中止することを決め、「海外英語研修」科目を未開講とした。「インターンシップ実習」については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により参加企業が集まらず未開講とした。

学生には、2021年度履修登録ガイダンス（令和3年3月実施）で説明し告知した。また、学内掲示で徹底した。

次年度以降は、新型コロナウイルス感染状況を考慮して開講を検討する。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{136} = \boxed{1.47} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎隣接地の購入（2018年7月）により校舎敷地が1,591㎡増加。（元）			
	校 舎 敷 地	46,006.80㎡ 44,415.80㎡	0㎡	0㎡	46,006.80㎡ 44,415.80㎡				
	運動場用地	6,000.00㎡	0㎡	0㎡	6,000.00㎡				
	小 計	52,006.80㎡ 50,415.80㎡	0㎡	0㎡	52,006.80㎡ 50,415.80㎡				
	そ の 他	2,867.00㎡	0㎡	0㎡	2,867.00㎡				
	合 計	54,873.80㎡ 53,282.80㎡	0㎡	0㎡	54,873.80㎡ 53,282.80㎡				
(2)校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	19,540.72㎡ (19540.72㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	19,540.72㎡ (19540.72㎡)					
(3)教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 実験実習室には専任教員 実験研究室（学生の「卒業研究」も実施）45室も含む。			
	9室	14室	60室	3室 (補助職員2人)	0室 (補助職員0人)				
(4)専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員研究室（教員室）はオフィス相当			
	大学全体			50 室					
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体の数	
		バイオサイエンス学部	40,500 [7,600] (38,933 [7,346])	70 [5] (74 [7])	1400 [1400] (1485 [1485])	780 (722)	0 (0)		0 (0)
		計	40,500 [7,600] (38,933 [7,346])	70 [5] (74 [7])	1400 [1400] (1485 [1485])	780 (722)	0 (0)		0 (0)
(6)図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	604.53㎡		148		63,889				
(7)体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,308.97㎡		テニスコート2面			該当なし			
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	令和2年3月期決算の実績に修正したため
		教員 1 人 当 り 研究費等	500千円	500千円	図書購入費	25,331千円 27,260千円	25,679千円 27,260千円	27,260千円	
		共 同 研 究 費 等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	72,890千円 68,587千円	78,772千円 70,000千円	70,000千円	
	学生 1 人 当 り	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	令和2年3月期決算の実績に修正したため	
	フロンティアバイオサイエンス学科	1,640千円	1,510千円	1,510千円	1,510千円	— 千円	— 千円		
	(臨床検査学コース)	(1,640千円)	(1,538千円)	(1,538千円)	(1,538千円)	— 千円	— 千円		
	フロンティアバイオサイエンス学科	1,640千円	1,510千円	1,510千円	1,510千円	— 千円	— 千円		
	フロンティアバイオサイエンス学科	1,640千円	1,510千円	1,510千円	1,510千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		補助金、寄付金、資産運用により収入確保を図る。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（2）」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	長浜バイオ大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
バイオサイエンス研究科 博士課程前期課程	2	36	-	72	修士 (バイオサイエンス)	1.12	1.30		平成19	滋賀県長浜市 田村町1266	平成31 名称変更 定員変更(△40)
バイオサイエンス研究科 博士課程後期課程	3	5	-	15	博士 (バイオサイエンス)	0.66	0.20		平成19	滋賀県長浜市 田村町1266	
バイオサイエンス学部	4	238	3年次4	960		1.02	0.77		平成15	滋賀県長浜市 田村町1266	
フロンティアバイオサイエンス学科	4	118	4	520	学士 (バイオサイエンス)	1.02	0.75		平成15	同上	
メディカルバイオサイエンス学科	4	70	-	210	学士 (バイオサイエンス)	0.95	0.71	平成31	平成31	同上	
アニマルバイオサイエンス学科	4	50	-	200	学士 (バイオサイエンス)	1.07	0.92		平成21	同上	
コンピュータバイオサイエンス学科	4	-	-	30	学士 (バイオサイエンス)	1.06	-		平成21	同上	平成31 学生募集 停止(△30)
大学全体		279	4	1047	-	1.02	0.82	-	-	-	
大 学 の 名 称	該当なし						学生募集停止学科数		平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数		備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜バイオサイエンス学部 メディカルバイオサイエンス学科＞

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		伊藤 正恵 (61) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		食品衛生学※ 病原ウイルス学 M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究
専 教授		植月 太一 (61) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		エッセンシャル生物学Ⅰ 放射線概論 応用実験Ⅰ（微生物系） 応用実験Ⅱ（動植物系） M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系）
専 教授		川瀬 雅也 (57) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		応用実験Ⅰ（タンパク質系） 工学デザイン概論 化学工学基礎 応用実験Ⅱ（タンパク質系） 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ
専 教授		佐々木 真一 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		応用実験Ⅰ（物質系） 応用実験Ⅱ（物質系） 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ
専 教授		永田 宏 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		医療情報学概論 文献調査・講読 卒業研究 医療データベース技術Ⅰ※ 医療データベース技術Ⅱ※ 医療のための情報工学概論Ⅰ※ 医療のための情報工学概論Ⅱ
専 教授		松島 三兄 (66) (高) ＜平成31年4月＞ 修士（経済学）
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 大学での学びと実践方法Ⅱ 社風発見インターンシップ バイオビジネス概論※ 長浜魅力づくりプロジェクト おうみ学生未来塾 マーケティング戦略の立案 社会との関わりとキャリアパス バイオ産業論

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		伊藤 正恵 (61) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		食品衛生学※ 病原ウイルス学 M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究
専 教授		植月 太一 (61) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		エッセンシャル生物学Ⅰ 放射線生物学 応用実験Ⅰ（微生物系） 応用実験Ⅱ（動植物系） M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ
専 教授		川瀬 雅也 (57) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		系） 工学デザイン概論 化学工学基礎 応用実験Ⅱ（タンパク質系） 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 生命倫理・研究倫理※
専 教授		佐々木 真一 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		応用実験Ⅰ（物質系） 応用実験Ⅱ（物質系） 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ
専 教授		永田 宏 (59) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		医療情報学概論 文献調査・講読 卒業研究 医療データベース技術Ⅰ※ 医療データベース技術Ⅱ※ 医療のための情報工学概論Ⅰ※ 医療のための情報工学概論Ⅱ
専 教授		松島 三兄 (66) (高) ＜平成31年4月＞ 修士（経済学）
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 大学での学びと実践方法Ⅱ 社風発見インターンシップ バイオビジネス概論※ 長浜魅力づくりプロジェクト おうみ学生未来塾 マーケティング戦略の立案 社会との関わりとキャリアパス

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		伊藤 正恵 (62) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		食品衛生学※ 病原ウイルス学 M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究
専 教授		植月 太一 (62) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		エッセンシャル生物学Ⅰ 放射線生物学 応用実験Ⅰ（微生物系） 応用実験Ⅱ（動植物系） M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ
専 教授		川瀬 雅也 (58) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		応用実験Ⅰ（タンパク質系） 工学デザイン概論 化学工学基礎 応用実験Ⅱ（タンパク質系） 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 生命倫理・研究倫理※
専 教授		佐々木 真一 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		応用実験Ⅰ（物質系） 応用実験Ⅱ（物質系） 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ
専 教授		永田 宏 (60) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		医療情報学概論 文献調査・講読 卒業研究 医療データベース技術Ⅰ※ 医療データベース技術Ⅱ※ 医療のための情報工学概論Ⅰ※ 医療のための情報工学概論Ⅱ
専 教授		松島 三兄 (67) (高) ＜平成31年4月＞ 修士（経済学）
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 大学での学びと実践方法Ⅱ 社風発見インターンシップ バイオビジネス概論※ 長浜魅力づくりプロジェクト おうみ学生未来塾 マーケティング戦略の立案 社会との関わりとキャリアパス バイオ産業論

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		伊藤 正恵 (63) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		食品衛生学※ 病原ウイルス学 M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究
専 教授		植月 太一 (63) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		エッセンシャル生物学Ⅰ 放射線生物学 応用実験Ⅰ（微生物系） 応用実験Ⅱ（動植物系） M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ
専 教授		川瀬 雅也 (59) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		応用実験Ⅰ（タンパク質系） 工学デザイン概論 化学工学基礎 応用実験Ⅱ（タンパク質系） 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 生命倫理・研究倫理※
専 教授		佐々木 真一 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		応用実験Ⅰ（物質系） 応用実験Ⅱ（物質系） 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ
専 教授		永田 宏 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		医療情報学概論 文献調査・講読 卒業研究 医療データベース技術Ⅰ※ 医療データベース技術Ⅱ※ 医療のための情報工学概論Ⅰ※ 医療のための情報工学概論Ⅱ コンピュータ基礎実習
専 教授		松島 三兄 (67) (高) ＜平成31年4月＞ 修士（経済学）
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 大学での学びと実践方法Ⅱ 社風発見インターンシップ バイオビジネス概論※ 長浜魅力づくりプロジェクト おうみ学生未来塾 マーケティング戦略の立案 社会との関わりとキャリアパス バイオ産業論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	松島 三児 (68) ＜平成33年4月＞ 修士（経済学）	兼任	講師	松島 三児 (68) ＜平成33年4月＞ 修士（経済学）	兼任	講師	松島 三児 (68) ＜令和3年4月＞ 修士（経済学）			
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 大学での学びと実践方法Ⅱ 社風発見インターンシップ バイオビジネス概論※ 長浜魅力づくりプロジェクト おうみ学生未来塾 マーケティング戦略の立案 社会との関わりとキャリアパス バイオ産業論			大学での学びと実践方法Ⅰ※ 大学での学びと実践方法Ⅱ 社風発見インターンシップ バイオビジネス概論 長浜魅力づくりプロジェクト おうみ学生未来塾 マーケティング戦略の立案 社会との関わりとキャリアパス バイオ産業論			大学での学びと実践方法Ⅰ※ 大学での学びと実践方法Ⅱ 社風発見インターンシップ バイオビジネス概論 長浜魅力づくりプロジェクト おうみ学生未来塾 マーケティング戦略の立案 社会との関わりとキャリアパス バイオ産業論			
専	教授	水上 民夫 (64) (高) ＜平成31年4月＞ 農学博士	専	教授	水上 民夫 (64) ＜平成31年4月＞ 農学博士	専	教授	水上 民夫 (65) (高) ＜平成31年4月＞ 農学博士	専	教授	坂井 伸彰 (44) ＜令和3年4月＞ 修士（情報学）
		バイオビジネス概論※ 創薬科学概論			バイオビジネス概論※ 創薬科学概論 生命倫理・研究倫理※ M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系）			バイオビジネス概論※ 創薬科学概論※ 生命倫理・研究倫理※ M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系）			大学での学びと実践方法Ⅰ※ 大学での学びと実践方法Ⅱ 社風発見インターンシップ バイオビジネス概論※ 長浜魅力づくりプロジェクト おうみ学生未来塾 マーケティング戦略の立案 社会との関わりとキャリアパス バイオ産業論
専	教授	山本 博章 (65) (高) ＜平成31年4月＞ 理学博士	専	教授	山本 博章 (66) (高) ＜平成31年4月＞ 理学博士						
		バイオ実験夢チャレンジⅠ バイオ実験夢チャレンジⅡ			バイオ実験夢チャレンジⅠ バイオ実験夢チャレンジⅡ 生命倫理・研究倫理※ 応用実験Ⅱ（物質系）						
専	教授	和田 健之介 (61) ＜平成31年4月＞ 修士（※）（理学）	専	教授	和田 健之介 (62) ＜平成31年4月＞ 修士（※）（理学）	兼任	講師	山本 博章 (67) ＜令和2年4月＞ 理学博士	兼任	講師	山本 博章 (68) ＜令和2年4月＞ 理学博士
		コンピュータ・グラフィックス 実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 AIロボット製作実習 立体解剖学 文献調査・講読 卒業研究			コンピュータ・グラフィックス 実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 AIロボット製作実習 立体解剖学 文献調査・講読 卒業研究 サイエンスイノベーション 入門※			バイオ実験夢チャレンジⅠ バイオ実験夢チャレンジⅡ 生命倫理・研究倫理※ 応用実験Ⅱ（物質系）			バイオ実験夢チャレンジⅠ バイオ実験夢チャレンジⅡ 生命倫理・研究倫理※ 応用実験Ⅱ（物質系）
専	教授	和田 健之介 (63) ＜平成31年4月＞ 修士（※）（理学）	専	教授	和田 健之介 (63) ＜平成31年4月＞ 修士（※）（理学）	専	教授	和田 健之介 (63) ＜平成31年4月＞ 修士（※）（理学）	専	教授	和田 健之介 (64) ＜平成31年4月＞ 修士（※）（理学）
		コンピュータ・グラフィックス 実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 AIロボット製作実習 立体解剖学 文献調査・講読 卒業研究 サイエンスイノベーション 入門※			コンピュータ・グラフィックス 実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 AIロボット製作実習 立体解剖学 文献調査・講読 卒業研究 サイエンスイノベーション 入門※			コンピュータ・グラフィックス 実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 AIロボット製作実習 立体解剖学 文献調査・講読 卒業研究 サイエンスイノベーション 入門※			コンピュータ・グラフィックス 実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 AIロボット製作実習 立体解剖学 文献調査・講読 卒業研究 サイエンスイノベーション 入門※
専	教授	堀部 智久 (45) ＜令和2年4月＞ 博士（理学）	専	教授	堀部 智久 (45) ＜令和2年4月＞ 博士（理学）	専	教授	堀部 智久 (45) ＜令和2年4月＞ 博士（理学）	専	教授	堀部 智久 (46) ＜令和2年4月＞ 博士（理学）
		バイオビジネス概論※ 生命倫理・研究倫理※ 創薬科学概論※ M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究			バイオビジネス概論※ 生命倫理・研究倫理※ 創薬科学概論※ M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究			バイオビジネス概論※ 生命倫理・研究倫理※ 創薬科学概論※ M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究			バイオビジネス概論※ 生命倫理・研究倫理※ 創薬科学概論※ M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	准教授	麻生 一枝 (64) (高) ＜平成31年4月＞ 理学博士	専任	准教授	麻生 一枝 (64) ＜平成31年4月＞ 理学博士	専任	准教授	一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修	専任	准教授	一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修 生命倫理・研究倫理※
		一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修			一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修 生命倫理・研究倫理※			一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修			一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修 生命倫理・研究倫理※
兼任	講師	麻生 一枝 (65) ＜平成32年4月＞ 理学博士	兼任	講師	麻生 一枝 (65) ＜平成32年4月＞ 理学博士	兼任	講師	麻生 一枝 (65) ＜令和2年4月＞ 理学博士	兼任	講師	一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修 生命倫理・研究倫理※ 英文法Ⅰ 英文法Ⅱ
		一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修			一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修 生命倫理・研究倫理※			一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修 生命倫理・研究倫理※ 英文法Ⅰ 英文法Ⅱ			一般英語Ⅰ 英語多読Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 海外英語研修 生命倫理・研究倫理※ 英文法Ⅰ 英文法Ⅱ
専任	准教授	岩本（木原） 昌子 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	専任	准教授	岩本（木原） 昌子 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	専任	准教授	岩本（木原） 昌子 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	専任	准教授	岩本（木原） 昌子 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ エッセンシャル生化学Ⅱ 生物学基礎 自然科学基礎実験Ⅰ M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究			大学での学びと実践方法Ⅰ※ エッセンシャル生化学Ⅱ 生物学基礎 自然科学基礎実験Ⅰ M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究 生産管理システム※			大学での学びと実践方法Ⅰ※ エッセンシャル生化学Ⅱ 生物学基礎 自然科学基礎実験Ⅰ M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究 生産管理システム※			大学での学びと実践方法Ⅰ※ エッセンシャル生化学Ⅱ 生物学基礎 自然科学基礎実験Ⅰ M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究 生産管理システム※
専任	准教授	大島 一彦 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任	准教授	大島 一彦 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任	教授	大島 一彦 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任	教授	大島 一彦 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		コンピュータ応用実習 生命情報科学実習 応用実験Ⅱ（情報系） ゲノム解析学 インシリコ創薬基礎実習 進化生物学 インシリコ創薬基礎実習 進化生物学 インシリコ創薬応用実習 文献調査・講読 卒業研究			コンピュータ応用実習 生命情報科学実習 応用実験Ⅱ（情報系） ゲノム解析学 インシリコ創薬基礎実習 進化生物学 インシリコ創薬基礎実習 進化生物学 インシリコ創薬応用実習 文献調査・講読 卒業研究 大学での学びと実践方法Ⅰ※			コンピュータ応用実習 生命情報科学実習 応用実験Ⅱ（情報系） ゲノム解析学 インシリコ創薬基礎実習 進化生物学 インシリコ創薬基礎実習 進化生物学 インシリコ創薬応用実習 文献調査・講読 卒業研究 大学での学びと実践方法Ⅰ※			コンピュータ応用実習 生命情報科学実習 応用実験Ⅱ（情報系） ゲノム解析学 インシリコ創薬基礎実習 進化生物学 インシリコ創薬基礎実習 進化生物学 インシリコ創薬応用実習 文献調査・講読 卒業研究 大学での学びと実践方法Ⅰ※
専任	准教授	亀村 和生 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	専任	准教授	亀村 和生 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	専任	准教授	亀村 和生 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）	専任	教授	亀村 和生 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		化学基礎 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 栄養学 M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究			化学基礎 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 栄養学 M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究 サイエンスイノベーション入門※			化学基礎 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 栄養学 M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究 サイエンスイノベーション入門※			化学基礎 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 栄養学 M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究 サイエンスイノベーション入門※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	中村 卓 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	専	准教授	中村 卓 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	専	准教授	中村 卓 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	専	准教授	中村 卓 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 生物工学システム※ 生理活性物質概論 タンパク質工学※ 生体材料工学※ M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究			大学での学びと実践方法Ⅰ※ 生物工学システム※ 生理活性物質概論 タンパク質工学※ 生体材料工学※ M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究 生産管理システム※			大学での学びと実践方法Ⅰ※ 生物工学システム※ 生理活性物質概論 タンパク質工学※ 生体材料工学※ M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究 生産管理システム※			大学での学びと実践方法Ⅰ※ 生物工学システム※ 生理活性物質概論 タンパク質工学※ 生体材料工学※ M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究 生産管理システム※
専	准教授	奈良 篤樹 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	奈良 篤樹 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	奈良 篤樹 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専	准教授	奈良 篤樹 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		化学基礎 タンパク質工学※ 応用実験Ⅰ（動植物系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究			化学基礎 タンパク質工学 応用実験Ⅰ（動植物系） M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） サイエンスイノベーション入門※ 文献調査・講読 卒業研究			化学基礎 タンパク質工学 応用実験Ⅰ（動植物系） M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） サイエンスイノベーション入門※ 文献調査・講読 卒業研究			化学基礎 タンパク質工学 応用実験Ⅰ（動植物系） M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） サイエンスイノベーション入門※ 文献調査・講読 卒業研究
専	准教授	向井 秀仁 (57) ＜平成31年4月＞ 学術博士	専	准教授	向井 秀仁 (57) ＜平成31年4月＞ 学術博士	専	教授	向井 秀仁 (58) ＜平成31年4月＞ 学術博士	専	教授	向井 秀仁 (59) ＜平成31年4月＞ 学術博士
		エッセンシャル生化学Ⅰ エッセンシャル化学Ⅰ※ 医薬分子機能学 M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究			エッセンシャル生化学Ⅰ エッセンシャル化学Ⅰ※ 医薬分子機能学 M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究 サイエンスイノベーション入門※			エッセンシャル生化学Ⅰ エッセンシャル化学Ⅰ※ 医薬分子機能学 M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究 サイエンスイノベーション入門※			エッセンシャル生化学Ⅰ エッセンシャル化学Ⅰ※ 医薬分子機能学 M専門実験ⅠA（医科学系） M専門実験ⅡA（医科学系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 文献調査・講読 卒業研究 サイエンスイノベーション入門※
専	講師	Olivia Kennedy (43) ＜令和2年4月＞ 修士 Canterbury大学	専	講師	Olivia Kennedy (43) ＜令和2年4月＞ 修士 Canterbury大学	専	講師	Olivia Kennedy (44) ＜令和2年4月＞ 修士 Canterbury大学	専	講師	Olivia Kennedy (44) ＜令和2年4月＞ 修士 Canterbury大学
		一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅰ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 海外英語研修			一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅰ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 海外英語研修			一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅰ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 海外英語研修			一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ 英語多読Ⅰ 英語多読Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 海外英語研修
専	助教	保科 亮 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専	助教	保科 亮 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専	助教	保科 亮 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専	助教	保科 亮 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅱ（タンパク質系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 大学での学びと実践方法Ⅰ※			自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅱ（タンパク質系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 大学での学びと実践方法Ⅰ※			自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅱ（タンパク質系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 大学での学びと実践方法Ⅰ※			自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅱ（タンパク質系） M専門実験ⅠB（創薬科学系） M専門実験ⅡB（創薬科学系） 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 応用実験Ⅰ（タンパク質系）
専	助教	米澤 弘毅 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（情報学）	専	助教	米澤 弘毅 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（情報学）	専	助教	米澤 弘毅 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（情報学）	専	助教	米澤 弘毅 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（情報学）
		医用データベース技術Ⅰ 医用データベース技術Ⅱ			医用データベース技術Ⅰ※ 医用データベース技術Ⅱ※ コンピュータ応用実習			医用データベース技術Ⅰ※ 医用データベース技術Ⅱ※ コンピュータ応用実習			医用データベース技術Ⅰ※ 医用データベース技術Ⅱ※ コンピュータ応用実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授(学長)	蔡 晃植 (58) <平成31年4月> 農学博士	兼任	教授(学長)	蔡 晃植 (58) <平成31年4月> 農学博士	兼任	教授(学長)	蔡 晃植 (59) <平成31年4月> 農学博士	兼任	教授(学長)	蔡 晃植 (60) <平成31年4月> 農学博士
		データサイエンス入門			サイエンスイノベーション入門※			サイエンスイノベーション入門※			サイエンスイノベーション入門※ 近江でのSDGsの実践
兼任	教授	宇佐美 昭二 (56) <平成31年4月> 理学博士	兼任	教授	宇佐美 昭二 (56) <平成31年4月> 理学博士	兼任	教授	宇佐美 昭二 (57) <平成31年4月> 理学博士	兼任	教授	宇佐美 昭二 (58) <平成31年4月> 理学博士
		応用実験Ⅰ(DNA系) 応用実験Ⅱ(DNA系) 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ			応用実験Ⅰ(DNA系) 応用実験Ⅱ(DNA系) 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ			応用実験Ⅰ(DNA系) 応用実験Ⅱ(DNA系) 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ			応用実験Ⅰ(DNA系) 応用実験Ⅱ(DNA系) 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ
兼任	教授	大島 淳 (62) (高) <平成31年4月> 博士(農学)	兼任	教授	大島 淳 (62) <平成31年4月> 博士(農学)	兼任	教授	大島 淳 (63) <平成31年4月> 博士(農学)	兼任	教授	大島 淳 (64) <平成31年4月> 博士(農学)
		基礎微生物学※ 科学技術論 遺伝子工学 インターンシップ実習			基礎微生物学※ 科学技術論 遺伝子工学 インターンシップ実習			基礎微生物学※ 科学技術論 遺伝子工学 インターンシップ実習			基礎微生物学※ 科学技術論 遺伝子工学 インターンシップ実習
兼任	教授	河合 靖 (55) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	教授	河合 靖 (55) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	教授	河合 靖 (56) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	教授	河合 靖 (57) <平成31年4月> 博士(理学)
		エッセンシャル化学Ⅰ※ 安全学 エッセンシャル化学Ⅱ※ 機器分析概論※ 有機化学			エッセンシャル化学Ⅰ※ 安全学 エッセンシャル化学Ⅱ※ 機器分析概論※ 有機化学			エッセンシャル化学Ⅰ※ 安全学 エッセンシャル化学Ⅱ※ 機器分析概論※ 有機化学			エッセンシャル化学Ⅰ※ 安全学 エッセンシャル化学Ⅱ※ 機器分析概論※ 有機化学
兼任	教授	齊藤 修 (59) <平成31年4月> 理学博士	兼任	教授	齊藤 修 (59) <平成31年4月> 理学博士	兼任	教授	齊藤 修 (60) <平成31年4月> 理学博士	兼任	教授	齊藤 修 (61) <平成31年4月> 理学博士
		エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 神経科学			エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 神経科学 応用実験Ⅰ(動植物系)			エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 神経科学 応用実験Ⅰ(動植物系)			エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 神経科学 応用実験Ⅰ(動植物系)
兼任	教授	白井 剛 (52) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	教授	白井 剛 (52) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	教授	白井 剛 (53) <平成31年4月> 博士(理学)	兼任	教授	白井 剛 (54) <平成31年4月> 博士(理学)
		コンピュータ応用実習 生命情報科学概論※ 生命情報科学実習 生命倫理・研究倫理※ 応用実験Ⅱ(情報系) インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習 構造生物学			コンピュータ応用実習 生命情報科学概論※ 生命情報科学実習 生命倫理・研究倫理※ 応用実験Ⅱ(情報系) インシリコ創薬応用実習 インシリコ創薬基礎実習 構造生物学			コンピュータ応用実習 生命情報科学概論※ 生命情報科学実習 生命倫理・研究倫理※ 応用実験Ⅱ(情報系) インシリコ創薬応用実習 インシリコ創薬基礎実習 構造生物学			コンピュータ応用実習 生命情報科学概論※ 生命情報科学実習 生命倫理・研究倫理※ 応用実験Ⅱ(情報系) インシリコ創薬応用実習 インシリコ創薬基礎実習 構造生物学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	永井 信夫 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	永井 信夫 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	永井 信夫 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	永井 信夫 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 動物生理学 薬理学			エッセンシャル動物科学 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 動物生理学 薬理学			エッセンシャル動物科学 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 動物生理学 薬理学			エッセンシャル動物科学 実験動物学※ 生命倫理・研究倫理※ 動物生理学 薬理学
兼任	教授	中村 肇伸 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）	兼任	教授	中村 肇伸 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）	兼任	教授	中村 肇伸 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）	兼任	教授	中村 肇伸 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（薬学）
		エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 実験動物学※ 動物生殖発生学※			エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 実験動物学※ 動物生殖発生学※ サイエンスイノベーション入門※ 生命倫理・研究倫理※ 発生生物学※ 応用実験Ⅰ（動植物系）			エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 実験動物学※ 動物生殖発生学※ サイエンスイノベーション入門※ 生命倫理・研究倫理※ 発生生物学※ 応用実験Ⅰ（動植物系）			エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 実験動物学※ 動物生殖発生学※ サイエンスイノベーション入門※ 生命倫理・研究倫理※ 発生生物学※ 応用実験Ⅰ（動植物系）
兼任	教授	野村 慎太郎 (64) （高） ＜平成31年4月＞ 農学博士	兼任	教授	野村 慎太郎 (64) ＜平成31年4月＞ 農学博士	兼任	教授	野村 慎太郎 (65) ＜平成31年4月＞ 農学博士			
		エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 組織学 動物生殖発生学※			エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 組織学 動物生殖発生学※			エッセンシャル動物科学※ 実験動物学※ 組織学※ 動物生殖発生学※			
兼任	教授	長谷川 慎 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	長谷川 慎 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	長谷川 慎 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	長谷川 慎 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		化学基礎 機器分析概論※ 生体高分子解析学 生体材料工学※			化学基礎 機器分析概論※ 生体高分子解析学 生体材料工学※ 生命倫理・研究倫理※			化学基礎 機器分析概論※ 生体高分子解析学 生体材料工学※ 生命倫理・研究倫理※			化学基礎 機器分析概論※ 生体高分子解析学 生体材料工学※ 生命倫理・研究倫理※
兼任	教授	林 誠 (57) ＜平成31年4月＞ 農学博士	兼任	教授	林 誠 (57) ＜平成31年4月＞ 農学博士	兼任	教授	林 誠 (58) ＜平成31年4月＞ 農学博士	兼任	教授	林 誠 (59) ＜平成31年4月＞ 農学博士
		植物科学概論 遺伝学概論※			植物科学概論 遺伝学概論※ 生命倫理・研究倫理※			植物科学概論 遺伝学概論※ 生命倫理・研究倫理※			植物科学概論 遺伝学概論※ 生命倫理・研究倫理※
兼任	教授	向 由起夫 (54) ＜平成31年4月＞ 工学博士	兼任	教授	向 由起夫 (54) ＜平成31年4月＞ 工学博士	兼任	教授	向 由起夫 (55) ＜平成31年4月＞ 工学博士	兼任	教授	向 由起夫 (56) ＜平成31年4月＞ 工学博士
		基礎微生物学※ 遺伝学概論※ 生物工学システム※			遺伝学概論※ 基礎微生物学※ 生物工学システム※ 生産管理システム※			遺伝学概論※ 基礎微生物学※ 生物工学システム※ 生産管理システム※			遺伝学概論※ 基礎微生物学※ 生物工学システム※ 生産管理システム※
兼任	教授	吉川 清次 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	吉川 清次 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	吉川 清次 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）			
		医学概論※ 生命倫理・研究倫理※ 病理学※			医学概論※ 生命倫理・研究倫理※ 病理学※			医学概論※ 生命倫理・研究倫理※ 病理学※			
									兼任	講師	吉川 清次 (57) ＜令和3年4月＞ 博士（医学）
											医学概論※ 生命倫理・研究倫理※ 病理学※
						兼任	教授	大森 義裕 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	教授	大森 義裕 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
								遺伝学概論			遺伝学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	池内 俊貴 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（水産学）	兼任	准教授	池内 俊貴 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（水産学）	兼任	准教授	池内 俊貴 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（水産学）	兼任	准教授	池内 俊貴 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（水産学）
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 自然科学基礎実験Ⅱ			大学での学びと実践方法Ⅰ※ 自然科学基礎実験Ⅱ			大学での学びと実践方法Ⅰ※ 自然科学基礎実験Ⅱ			大学での学びと実践方法Ⅰ※ 自然科学基礎実験Ⅱ
兼任	准教授	伊藤 洋志 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（人間健康科学）	兼任	准教授	伊藤 洋志 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（人間健康科学）	兼任	准教授	伊藤 洋志 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（人間健康科学）	兼任	准教授	伊藤 洋志 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（人間健康科学）
		医学概論※ 免疫学※			医学概論※ 免疫学※ サイエンスイノベーション入門※			医学概論※ 免疫学※ サイエンスイノベーション入門※			医学概論※ 免疫学※ サイエンスイノベーション入門※
兼任	准教授	小倉 淳 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	小倉 淳 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	小倉 淳 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	小倉 淳 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		医用データベース技術Ⅰ 医療のための情報工学概論Ⅰ 生命情報科学概論※			医用データベース技術Ⅰ 医療のための情報工学概論Ⅰ 生命情報科学概論※ エッセンシャル動物科学※ サイエンスイノベーション入門※			医用データベース技術Ⅰ 医療のための情報工学概論Ⅰ 生命情報科学概論※ エッセンシャル動物科学※ サイエンスイノベーション入門※			医用データベース技術Ⅰ 医療のための情報工学概論Ⅰ 生命情報科学概論※ エッセンシャル動物科学※ サイエンスイノベーション入門※
兼任	准教授	河内 浩行 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	兼任	准教授	河内 浩行 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	兼任	准教授	河内 浩行 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）	兼任	准教授	河内 浩行 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（工学）
		エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 実験動物学※ 食品衛生学※			エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 実験動物学※ 食品衛生学※ 生産管理システム※ 自然科学基礎実験Ⅰ			エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 実験動物学※ 食品衛生学※ 生産管理システム※ 自然科学基礎実験Ⅰ			エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 実験動物学※ 食品衛生学※ 生産管理システム※ 自然科学基礎実験Ⅰ
兼任	准教授	小宮 徹 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	小宮 徹 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	小宮 徹 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	小宮 徹 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		エッセンシャル生物学Ⅱ 細胞工学 応用実験Ⅱ（動植物系）			エッセンシャル生物学Ⅱ 細胞工学 応用実験Ⅱ（動植物系）			エッセンシャル生物学Ⅱ 細胞工学 応用実験Ⅱ（動植物系）			エッセンシャル生物学Ⅱ 細胞工学 応用実験Ⅱ（動植物系）
兼任	准教授	西郷 甲矢人 (36) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	准教授	西郷 甲矢人 (36) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	西郷 甲矢人 (37) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	兼任	教授	西郷 甲矢人 (38) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		数理科学Ⅰ 線形代数学 データ解析学 解析学 数理科学Ⅴ			数理科学Ⅰ 線形代数学 データ解析学 解析学 数理科学Ⅴ			数理科学Ⅰ 線形代数学 データ解析学 解析学 数理科学Ⅴ			数理科学Ⅰ 線形代数学 データ解析学 解析学 数理科学Ⅴ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任・兼任・兼任の別	職名	塩生 真史 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	塩生 真史 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	塩生 真史 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	塩生 真史 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ コンピュータ応用実習 数理科学Ⅲ 生命情報科学実習 医用データベース技術Ⅱ インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習			大学での学びと実践方法Ⅰ※ コンピュータ応用実習 数理科学Ⅲ 生命情報科学実習 医用データベース技術Ⅱ インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習 サイエンスイノベーション入門※ データ解析学 応用実験Ⅱ（情報系）			大学での学びと実践方法Ⅰ※ コンピュータ応用実習 数理科学Ⅲ 生命情報科学実習 医用データベース技術Ⅱ インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習 サイエンスイノベーション入門※ データ解析学 応用実験Ⅱ（情報系） 生命倫理・研究倫理			大学での学びと実践方法Ⅰ※ コンピュータ応用実習 数理科学Ⅲ 生命情報科学実習 医用データベース技術Ⅱ インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習 サイエンスイノベーション入門※ データ解析学 応用実験Ⅱ（情報系） 生命倫理・研究倫理
専任・兼任・兼任の別	職名	高橋 健一 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	高橋 健一 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	高橋 健一 (52) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	高橋 健一 (53) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ エッセンシャル化学Ⅰ※ コンピュータ応用実習 数学基礎演習Ⅱ（微分積分） 数理科学Ⅱ エッセンシャル化学Ⅱ※ 医用工学概論 医療のための情報工学概論Ⅱ			大学での学びと実践方法Ⅰ※ エッセンシャル化学Ⅰ※ コンピュータ応用実習 数学基礎演習Ⅱ（微分積分） 数理科学Ⅱ エッセンシャル化学Ⅱ※ 医用工学概論 医療のための情報工学概論Ⅱ 応用実験Ⅱ（情報系） コンピュータ基礎実習			大学での学びと実践方法Ⅰ※ エッセンシャル化学Ⅰ※ コンピュータ応用実習 数学基礎演習Ⅱ（微分積分） 数理科学Ⅱ エッセンシャル化学Ⅱ※ 医用工学概論 医療のための情報工学概論Ⅱ 応用実験Ⅱ（情報系） コンピュータ基礎実習			大学での学びと実践方法Ⅰ※ エッセンシャル化学Ⅰ※ コンピュータ応用実習 数学基礎演習Ⅱ（微分積分） 数理科学Ⅱ エッセンシャル化学Ⅱ※ 医用工学概論 医療のための情報工学概論Ⅱ 応用実験Ⅱ（情報系） コンピュータ基礎実習
専任・兼任・兼任の別	職名	竹花 佑介 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	竹花 佑介 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	竹花 佑介 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	竹花 佑介 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		遺伝学概論※ 生命倫理・研究倫理※ 発生生物学※ 実験動物学※ エッセンシャル動物科学※			遺伝学概論※ 生命倫理・研究倫理※ 発生生物学※ 実験動物学※ エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学概論※			遺伝学概論※ 生命倫理・研究倫理※ 発生生物学※ 実験動物学※ エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学概論※			遺伝学概論※ 生命倫理・研究倫理※ 発生生物学※ 実験動物学※ エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学概論※
専任・兼任・兼任の別	職名	依田 隆夫 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	依田 隆夫 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	依田 隆夫 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	依田 隆夫 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ コンピュータ応用実習 数理科学Ⅱ 数理科学Ⅳ 生命情報科学実習 応用実験Ⅱ（情報系） インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習			大学での学びと実践方法Ⅰ※ コンピュータ応用実習 数理科学Ⅱ 数理科学Ⅳ 生命情報科学実習 応用実験Ⅱ（情報系） インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習 数学基礎演習Ⅱ（微分積分）			大学での学びと実践方法Ⅰ※ コンピュータ応用実習 数理科学Ⅱ 数理科学Ⅳ 生命情報科学実習 応用実験Ⅱ（情報系） インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習 数学基礎演習Ⅱ（微分積分）			大学での学びと実践方法Ⅰ※ コンピュータ応用実習 数理科学Ⅱ 数理科学Ⅳ 生命情報科学実習 応用実験Ⅱ（情報系） インシリコ創薬基礎実習 インシリコ創薬応用実習 数学基礎演習Ⅱ（微分積分）
専任・兼任・兼任の別	職名	和田 修一 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	和田 修一 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	和田 修一 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	和田 修一 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 多様性生物学概論 動物系統分類学			エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 多様性生物学概論 動物系統分類学 自然科学基礎実験Ⅰ			エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 多様性生物学概論 動物系統分類学 自然科学基礎実験Ⅰ			エッセンシャル動物科学※ 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 多様性生物学概論 動物系統分類学 自然科学基礎実験Ⅰ
専任・兼任・兼任の別	職名	倉林 敦 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	倉林 敦 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	倉林 敦 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	専任・兼任・兼任の別	職名	倉林 敦 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
		エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学概論※ 自然科学基礎実験Ⅰ			エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学概論※ 自然科学基礎実験Ⅰ			エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学概論※ 自然科学基礎実験Ⅰ			エッセンシャル動物科学※ 多様性生物学概論※ 自然科学基礎実験Ⅰ
専任・兼任・兼任の別	職名	今村（陣田） 綾 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（農学）	専任・兼任・兼任の別	職名	今村（陣田） 綾 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（農学）	専任・兼任・兼任の別	職名	今村（陣田） 綾 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（農学）	専任・兼任・兼任の別	職名	今村（陣田） 綾 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（農学）
		化学基礎 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 応用実験Ⅰ（動植物系）			化学基礎 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 応用実験Ⅰ（動植物系）			化学基礎 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 応用実験Ⅰ（動植物系）			化学基礎 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 応用実験Ⅰ（動植物系）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	高橋 敏宏 (53) <平成31年4月> 博士(学術)	化学基礎 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 数学基礎演習Ⅰ(基礎解析) 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ
兼任	助教	福崎 優太 (39) <平成31年4月> 修士(バイオサイエンス)	化学基礎 数学基礎演習Ⅰ(基礎解析)
兼任	助教	池島 信江 (44) <平成31年4月> 博士(医学)	自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ バイオ実験夢チャレンジⅡ 応用実験Ⅰ(物質系) 応用実験Ⅱ(物質系)
兼任	助教	神村 麻友 (32) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)	自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ(タンパク質系)
兼任	助教	近藤(桂木) 真千子 (35) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)	自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ(動植物系) 応用実験Ⅱ(動植物系)
兼任	助教	阪上 起世 (44) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)	発生生物学 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ(動植物系) 応用実験Ⅱ(動植物系) 大学での学びと実践方法Ⅰ※
兼任	助教	平井 洋行 (35) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)	大学での学びと実践方法Ⅰ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	高橋 敏宏 (53) <平成31年4月> 博士(学術)	化学基礎 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 数学基礎演習Ⅰ(基礎解析) 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ
兼任	助教	福崎 優太 (40) <平成31年4月> 修士(バイオサイエンス)	化学基礎 数学基礎演習Ⅰ(基礎解析) 大学での学びと実践方法Ⅰ※
兼任	助教	池島 信江 (44) <平成31年4月> 博士(医学)	自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ バイオ実験夢チャレンジⅡ 応用実験Ⅰ(物質系) 応用実験Ⅱ(物質系) バイオ実験夢チャレンジⅠ
兼任	助教	神村 麻友 (32) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)	自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ(タンパク質系) 大学での学びと実践方法Ⅰ※
兼任	助教	近藤(桂木) 真千子 (35) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)	自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ(動植物系) 応用実験Ⅱ(動植物系) 大学での学びと実践方法Ⅰ※
兼任	助教	阪上 起世 (44) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)	発生生物学 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ(動植物系) 応用実験Ⅱ(動植物系) 大学での学びと実践方法Ⅰ※ エッセンシャル動植物科学
兼任	助教	平井 洋行 (36) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)	大学での学びと実践方法Ⅰ※ 応用実験Ⅰ(微生物系)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	高橋 敏宏 (54) <平成31年4月> 博士(学術)	化学基礎 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 数学基礎演習Ⅰ(基礎解析) 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ
兼任	准教授	山本 哲志 (56) <令和3年4月> 博士(医学)	医学概論※
兼任	助教	福崎 優太 (42) <平成31年4月> 修士(バイオサイエンス)	化学基礎 数学基礎演習Ⅰ(基礎解析) 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 応用実験Ⅰ(タンパク質系) 応用実験Ⅱ(タンパク質系)
兼任	助教	池島 信江 (46) <平成31年4月> 博士(医学)	自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ バイオ実験夢チャレンジⅡ 応用実験Ⅰ(物質系) 応用実験Ⅱ(物質系) バイオ実験夢チャレンジⅠ
兼任	助教	神村 麻友 (34) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)	自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ(タンパク質系) 大学での学びと実践方法Ⅰ※
兼任	助教	近藤(桂木) 真千子 (37) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)	自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ(動植物系) 応用実験Ⅱ(動植物系) 大学での学びと実践方法Ⅰ※
兼任	助教	田中 照佳 (36) <令和3年4月> 博士(農学)	自然科学基礎実験Ⅰ 応用実験Ⅰ(動植物系) 大学での学びと実践方法Ⅰ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	縣 保年 (53) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		免疫学※
兼任	講師	池村 淑道 (77) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		バイオ実験夢チャレンジⅡ
兼任	講師	石垣 宏仁 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		病理学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	古川 岳人 (32) ＜平成31年4月＞ 博士（バイオサイエンス） 大学での学びと実践方法Ⅰ※
兼任	講師	縣 保年 (53) ＜平成31年4月＞ 医学博士 免疫学※
兼任	講師	池村 淑道 (78) ＜平成31年4月＞ 理学博士 バイオ実験夢チャレンジⅡ バイオ実験夢チャレンジⅠ
兼任	講師	石垣 宏仁 (44) ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 病理学※ 免疫学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	古川 岳人 (33) ＜平成31年4月＞ 博士（バイオサイエンス）
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 応用実験Ⅱ（動植物系）
兼任	助教	佐藤 友人 (32) ＜平成31年4月＞ 博士（バイオサイエンス）
		大学での学びと実践方法Ⅰ※ 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ（微生物系） 応用実験Ⅱ（動植物系）
兼任	講師	入野 保 (64) ＜平成31年4月＞ 健康学博士
		医学概論※
兼任	講師	縣 保年 (54) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		免疫学※
兼任	講師	池村 淑道 (79) ＜平成31年4月＞ 理学博士
		バイオ実験夢チャレンジⅡ バイオ実験夢チャレンジⅠ
兼任	講師	石垣 宏仁 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		病理学※ 免疫学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	佐藤 友人 (32) ＜平成31年4月＞ 博士（バイオサイエンス） 大学での学びと実践方法Ⅰ※ 自然科学基礎実験Ⅰ 自然科学基礎実験Ⅱ 応用実験Ⅰ（微生物系） 応用実験Ⅱ（動植物系）
兼任	講師	入野 保 (65) ＜令和3年4月＞ 健康学博士 医学概論※
兼任	助教	久保 健一 (48) ＜令和3年4月＞ 博士（工学） 自然科学基礎実験Ⅰ※ 応用実験Ⅰ（物質系） 応用実験Ⅱ（物質系） 大学での学びと実践方法Ⅰ※ バイオ実験夢チャレンジⅠ バイオ実験夢チャレンジⅡ
兼任	助教	関本 雅彦 (63) ＜令和3年4月＞ 専門学校卒 医学概論※
兼任	助教	谷口 健太郎 (32) ＜令和3年4月＞ 修士（人間健康科学） 大学での学びと実践方法Ⅰ※
兼任	助教	宮下 拓也 (34) ＜令和3年4月＞ 修士（生命医科学） 医学概論※ 病理学
兼任	講師	縣 保年 (55) ＜平成31年4月＞ 医学博士 免疫学※
兼任	講師	石垣 宏仁 (46) ＜平成31年4月＞ 博士（医学） 病理学※ 免疫学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 啓介 (49) ＜平成31年4月＞ 修士※（文学）
		近江の文化と歴史
兼任	講師	伊藤 靖 (54) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		病理学※
兼任	講師	岸本 正司 (73) ＜平成31年4月＞ 教育学修士
		法学（日本国憲法）
兼任	講師	衣笠 弥生 (55) ＜平成31年4月＞ 修士（人間・環境学）
		科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ TOEIC講座Ⅰ TOEIC講座Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 啓介 (49) ＜平成31年4月＞ 修士※（文学）
		近江の文化と歴史
兼任	講師	伊藤 靖 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		病理学※ 免疫学※
兼任	講師	菅井 学 (55) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		免疫学※
兼任	講師	田中 裕之 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		免疫学※
兼任	講師	谷垣 健二 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		免疫学※
兼任	講師	寺田 晃士 (47) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		免疫学※
兼任	講師	高宮 脩 (72) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		医学概論※
兼任	講師	武蔵勝宏 (57) ＜平成31年9月＞ 博士（法学）
		法学（日本国憲法）
兼任	講師	衣笠 弥生 (55) ＜平成31年4月＞ 修士（人間・環境学）
		科学英語Ⅱ TOEIC講座Ⅰ TOEIC講座Ⅱ 一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 啓介 (50) ＜平成31年4月＞ 修士※（文学）
		近江の文化と歴史
兼任	講師	伊藤 靖 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		病理学※ 免疫学※
兼任	講師	菅井 学 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		免疫学※
兼任	講師	田中 裕之 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		免疫学※
兼任	講師	谷垣 健二 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		免疫学※
兼任	講師	寺田 晃士 (48) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		免疫学※
兼任	講師	武蔵勝宏 (58) ＜平成31年9月＞ 博士（法学）
		法学（日本国憲法）
兼任	講師	衣笠 弥生 (56) ＜平成31年4月＞ 修士（人間・環境学）
		科学英語Ⅱ TOEIC講座Ⅰ TOEIC講座Ⅱ 一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	伊藤 啓介 (51) ＜平成31年4月＞ 修士※（文学）
		近江の文化と歴史
兼任	講師	伊藤 靖 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		病理学※ 免疫学※
兼任	講師	菅井 学 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		免疫学※
兼任	講師	田中 裕之 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		免疫学※
兼任	講師	谷垣 健二 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		免疫学※
兼任	講師	寺田 晃士 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		免疫学※
兼任	講師	近藤 健太 (33) ＜令和3年4月＞ 博士（保健学）
		免疫学※
兼任	講師	武蔵勝宏 (59) ＜平成31年9月＞ 博士（法学）
		法学（日本国憲法）
兼任	講師	Angus Leighton Hall (57) ＜令和3年4月＞ MA (Sports Psychology) (アメリカ)
		一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	京楽 真帆子 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本の歴史と文化
兼任	講師	近藤 紀章 (41) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		おうみ学生未来塾
兼任	講師	榊原 啓子 (65) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ
兼任	講師	塩澤 俊一 (69) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		健康保健学
兼任	講師	四方 朱子 (45) ＜平成31年4月＞ 修士※（文学）
		一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ
兼任	講師	末岡 加奈子 (47) ＜平成31年4月＞ 修士※（人間科学）
		一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	京楽 真帆子 (56) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
		日本の歴史と文化
兼任	講師	近藤 紀章 (41) ＜平成31年4月＞ 修士（文学）
		おうみ学生未来塾
兼任	講師	榊原 啓子 (66) ＜平成31年4月＞ 博士（学術）
		科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ
兼任	講師	塩澤 俊一 (70) ＜平成31年4月＞ 医学博士
		健康保健学
兼任	講師	四方 朱子 (45) ＜平成31年4月＞ 修士※（文学）
		一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ TOEIC講座Ⅰ TOEIC講座Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	京楽 真帆子 (57) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 日本の歴史と文化
兼任	講師	近藤 紀章 (42) ＜平成31年4月＞ 修士（文学） おうみ学生未来塾
兼任	講師	榊原 啓子 (67) ＜平成31年4月＞ 博士（学術） 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ
兼任	講師	牧野 壮一 (66) ＜令和2年4月＞ 医学博士 健康保健学
兼任	講師	四方 朱子 (46) ＜平成31年4月＞ 修士※（文学） 一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ TOEIC講座Ⅰ TOEIC講座Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	北條 暁子 (42) ＜令和3年4月＞ 修士（文学） 一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ
		野澤 和典 (69) ＜令和3年4月＞ (MA in Education) (アメリカ) 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ
兼任	講師	京樂 真帆子 (58) ＜平成31年4月＞ 博士（文学） 日本の歴史と文化
兼任	講師	榊原 啓子 (68) ＜平成31年4月＞ 博士（学術） 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ 一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ
兼任	講師	牧野 壮一 (67) ＜令和2年4月＞ 医学博士 健康保健学
兼任	講師	西堀 彰子 (57) ＜令和3年4月＞ 修士（人間・環境） 一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ TOEIC講座Ⅰ TOEIC講座Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ
		中村 満耶 (30) ＜令和3年4月＞ 修士（文学） 英文法Ⅰ 英文法Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	田中 眞 (59) ＜平成31年4月＞ 教育学士	兼任	講師	田中 眞 (59) ＜平成31年4月＞ 教育学士						
		一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ 英文法Ⅰ 英文法Ⅱ			一般英語Ⅰ 一般英語Ⅱ 英文法Ⅰ 英文法Ⅱ 科学英語Ⅰ 科学英語Ⅱ						
兼任	講師	中山 詢（順）子 (58) ＜平成31年4月＞ 文学士	兼任	講師	中山 詢（順）子 (59) ＜平成31年4月＞ 文学士		兼任	講師		兼任	講師
		言語表現Ⅰ 言語表現Ⅱ			言語表現Ⅰ 言語表現Ⅱ						
兼任	講師	西山 由理花 (31) ＜平成31年4月＞ 博士（法学）	兼任	講師	西山 由理花 (31) ＜平成31年4月＞ 博士（法学）						
		現代の政治と社会			現代の政治と社会						
							兼任	講師		兼任	講師
兼任	講師	布井 雅人 (34) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）	兼任	講師	布井 雅人 (34) ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）		兼任	講師			
		心理学			心理学						
兼任	講師	野部 博子 (73) ＜平成31年4月＞ 家政学修士									
		文学									
兼任	講師	古野 貢 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	兼任	講師	古野 貢 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（文学）		兼任	講師		兼任	講師
		世界史			世界史						
兼任	講師	松島 悦子 (64) ＜平成31年4月＞ 博士（社会科学）	兼任	講師	松島 悦子 (64) ＜平成31年4月＞ 博士（社会科学）		兼任	講師			
		社会学			社会学						
										兼任	講師

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	三輪 幸一 (66) ＜平成31年4月＞ 工学士	兼任	講師	三輪 幸一 (66) ＜平成31年4月＞ 工学士	兼任	講師	三輪 幸一 (67) ＜平成31年4月＞ 工学士			
		コンピュータ基礎実習 コンピュータ応用実習			コンピュータ基礎実習 コンピュータ応用実習			コンピュータ基礎実習 コンピュータ応用実習			
兼任	講師	向所 賢一 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	向所 賢一 (49) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	向所 賢一 (50) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	向所 賢一 (51) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		病理学※			病理学※			病理学※			病理学※
兼任	講師	森 雅樹 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	森 雅樹 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	森 雅樹 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	森 雅樹 (43) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
		病理学※			病理学※			病理学※			病理学※
			兼任	講師	仲山貴永 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	仲山貴永 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	仲山貴永 (42) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）
					病理学※			病理学※			病理学※
兼任	講師	森口 稔 (61) ＜平成31年4月＞ 修士※(Master of Science) アメリカ	兼任	講師	森口 稔 (61) ＜平成31年4月＞ 修士※(Master of Science) アメリカ	兼任	講師	森口 稔 (62) ＜平成31年4月＞ 修士※(Master of Science) アメリカ	兼任	講師	森口 稔 (63) ＜平成31年4月＞ 修士※(Master of Science) アメリカ
		言語表現Ⅰ 日本語Ⅰ（留学生） 言語表現Ⅱ 日本語Ⅱ（留学生） 科学英語Ⅲ 科学英語Ⅳ			言語表現Ⅰ 日本語Ⅰ（留学生） 言語表現Ⅱ 日本語Ⅱ（留学生） 科学英語Ⅲ 科学英語Ⅳ			言語表現Ⅰ 日本語Ⅰ（留学生） 言語表現Ⅱ 日本語Ⅱ（留学生） 科学英語Ⅲ 科学英語Ⅳ			言語表現Ⅰ 日本語Ⅰ（留学生） 言語表現Ⅱ 日本語Ⅱ（留学生） 科学英語Ⅲ 科学英語Ⅳ
兼任	講師	安村 恵子 (56) ＜平成31年4月＞ 修士※（文学）	兼任	講師	安村 恵子 (56) ＜平成31年4月＞ 修士※（文学）	兼任	講師	安村 恵子 (57) ＜平成31年4月＞ 修士※（文学）	兼任	講師	安村 恵子 (58) ＜平成31年4月＞ 修士※（文学）
		哲学			哲学			哲学			哲学
兼任	講師	山形 哲夫 (68) ＜平成31年4月＞ 薬学士	兼任	講師	山形 哲夫 (68) ＜平成31年4月＞ 薬学士	兼任	講師	山形 哲夫 (69) ＜平成31年4月＞ 薬学士	兼任	講師	山形 哲夫 (70) ＜平成31年4月＞ 薬学士
		公衆衛生学			公衆衛生学			公衆衛生学			公衆衛生学
兼任	講師	吉川 英治 (53) ＜平成31年4月＞ 修士※（経済学）	兼任	講師	吉川 英治 (53) ＜平成31年4月＞ 修士※（経済学）						
		経済学			経済学						
						兼任	講師	井手 一郎 (61) ＜令和21年4月＞ 修士（経済学）	兼任	講師	井手 一郎 (62) ＜令和21年4月＞ 修士（経済学）
								経済学			経済学
兼任	講師	和田 佳子 (61) ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	兼任	講師	和田 佳子 (61) ＜平成32年9月＞ 博士（医学）	兼任	講師	和田 佳子 (62) ＜平成32年9月＞ 博士（医学）	兼任	講師	和田 佳子 (63) ＜平成32年9月＞ 博士（医学）
		コンピュータ・グラフィックス実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 A I ロボット製作実習 立体解剖学			コンピュータ・グラフィックス実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 A I ロボット製作実習 立体解剖学			コンピュータ・グラフィックス実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 A I ロボット製作実習 立体解剖学			コンピュータ・グラフィックス実習 人工知能入門 人工知能の理論と実践 A I ロボット製作実習 立体解剖学

- （注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実（実））、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・昇任審査に基づく審査により、小倉淳准教授は教授に変更。
- ・より専門的で幅広い知識を学生に教授するため「エッセンシャル動物科学※」「多様性生物学概論※」「自然科学基礎実験Ⅰ」に兼任の倉林敦准教授を担当者に追加。
- ・昇任審査に基づく審査により助教に昇任した平井洋行助教、古川岳人助教を兼任として担当者に追加。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するために、高宮脩講師、菅井学講師、田中裕之講師、谷垣健二講師、寺田晃士講師、仲山貴永講師を担当者追加。
- ・岸本正司講師辞任により、武蔵勝宏講師に変更。
- ・野部博子講師辞任により、中川智寛講師に変更。
- ・自己都合により、末岡加奈子講師が辞任。
- ・自己都合により、和田佳子講師の就任が、平成31年4月から令和2年9月に変更。

【令和2年度】

- ・令和元年10月、知名秀泰助教就任。
- ・令和2年4月、堀部智久教授、Olivia Kennedy講師、岩崎裕貴助教就任。
- ・昇任審査に基づく審査により、大島一彦准教授、向井秀に准教授、西郷甲矢人准教授は教授に、高橋敏宏講師は准教授に変更。
- ・昇任審査に基づく審査により助教に昇任した佐藤友人助教を兼任として担当者に追加。
- ・定年退職により、麻生一枝准教授は兼任講師へ変更。
- ・任期満了により山本博章教授は兼任講師へ変更。
- ・今村綾准教授を講師へ変更。
- ・堀部 智久教授が着任し、「バイオビジネス概論」「生命倫理・研究倫理」「創薬科学概論」「M専門実験ⅠB(創薬科学系)」「M専門実験ⅡB(創薬科学系)」「文献調査・講読」「卒業研究」を担当。
- ・Olivia Kennedy講師が着任し、「一般英語Ⅰ」「英語多読Ⅰ」「一般英語Ⅱ」「英語多読Ⅱ」「科学英語Ⅰ」「科学英語Ⅱ」「海外英語研修」を担当。
- ・岩崎裕貴助教が着任し、「医用データベース技術Ⅰ」「医用データベース技術Ⅱ」「コンピュータ応用実習」「応用実験Ⅱ(情報系)」を担当。
- ・知名 秀泰助教が着任し、「大学での学びと実践方法Ⅰ」「自然科学基礎実験Ⅰ」「自然科学基礎実験Ⅱ」「M専門実験ⅠB(創薬科学系)」「M専門実験ⅡB(創薬科学系)」を担当。
- ・より専門的で幅広い知識を学生に教授するため「遺伝学概論」について兼任の大森義裕教授を担当者へ変更。
- ・より専門的で幅広い知識を学生に教授するため「医学概論」に兼任の小森敏明教授を担当者に追加。
- ・より専門的で幅広い知識を学生に教授するため「エッセンシャル動物科学」「生命倫理・研究倫理」「実験動物学」「組織学」「動物生殖発生学」に兼任の橋本統教授を担当者に追加。
- ・より専門的で幅広い知識を学生に教授するため「生命倫理・研究倫理」に兼任の塩生真史准教授を担当者に追加。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するため「エッセンシャル動物科学」に兼任の阪上起世准教授を担当者に追加。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するため「応用実験Ⅰ(微生物系)」に兼任の平井洋行助教を担当者に追加。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するため「応用実験Ⅱ(動植物系)」に兼任の古川岳人助教を担当者に追加。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するため「医学概論」に兼任の入野保講師を担当者へ追加。
- ・塩澤俊一講師辞任により、牧野壮一講師に変更。
- ・西山由理花講師辞任により、須川忠輝講師に変更。
- ・吉川英治講師辞任により、井手一郎講師に変更。
- ・自己都合により、高宮脩講師、田中真講師が辞任。

【令和3年度】

- ・昇任審査に基づく審査により、亀村和生准教授が教授に変更。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するため、コンピュータ基礎実習 に永田宏教授、岩崎裕貴助教を追加
- ・松島三兄教授が任期満了により退職し、坂井伸彰教授が着任。
- ・「大学での学びと実践方法Ⅰ」「大学での学びと実践方法Ⅱ」「社風発見インターンシップ」「バイオビジネス概論」「長浜魅力づくりプロジェクト」「おうみ学生未来塾」「マーケティング戦略の立案」「社会との関わりとキャリアパス」「バイオ産業論」を担当。
- ・任期満了により、専任教員の水上民夫教授が退職し、「創薬科学概論」について堀部智久教授が単独で担当。
- ・学生により近い年齢層の教員から、大学での学び方をより学生にとって理解しやすく教授するため、「大学での学びと実践方法Ⅰ」の担当教員を専任教員の亀村和生教授、亀村和生教授、岩本昌子准教授、中村卓准教授、兼任の中村肇伸教授、池内俊貴准教授、塩生真史准教授、高橋健一准教授、依田隆夫准教授から、専任教員の岩崎裕貴助教、兼任の田中照佳助教、久保健一助教へ変更。
- ・昇任審査に基づく審査により助教に昇任した谷口健太郎助教を兼任として「大学での学びと実践方法Ⅰ」担当者に追加。
- ・自己都合により、麻生一枝講師、衣笠弥生講師、四方朱子講師が辞任。
- ・「一般英語Ⅰ」「一般英語Ⅱ」の担当をAngus Leighton Hall講師、北條暁子講師、西堀彰子講師に変更。
- ・「科学英語Ⅰ」「科学英語Ⅱ」の担当を榎原啓子講師、Angus Leighton Hall講師、野澤和典講師に変更。
- ・「英文法Ⅰ」「英文法Ⅱ」の担当を中村満耶講師に変更。
- ・「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」「TOEIC講座Ⅰ」「TOEIC講座Ⅱ」の担当を西堀彰子講師に変更。
- ・専門的知識と技術を効果的に教授するため、「応用実験Ⅰ(タンパク質系)」「応用実験Ⅱ(タンパク質系)」に専任の保科亮助教、知名秀泰助教、兼任の福岡優太助教を追加。
- ・「近江でのSDGsの実践」をSDGsとは何かを学び、SDGsで掲げる17個の目標とその目標達成への実践例なども学ぶために新規科目として開設し、兼任の森見植教授が担当。
- ・任期満了により野村慎太郎教授が退職。
- ・自己都合により、兼任の吉川清次教授が辞任し、兼任・講師となり、兼任として山本哲志准教授が着任し、「医学概論」を担当。
- ・より専門的で幅広い知識を学生に教授するため 兼任の山本哲志准教授、関本雅彦助教、宮下拓也助教を「医学概論」に追加
- ・任期満了により、兼任の阪上起世助教、古川岳人助教、平井洋行助教が退職し、田中照佳助教、久保健一助教が着任し、「自然科学基礎実験Ⅰ」を担当。
- ・久保健一助教は「自然科学基礎実験Ⅱ」「応用実験Ⅰ(物質系)」「応用実験Ⅱ(物質系)」についても担当。
- ・「バイオ実験夢チャレンジⅠ」「バイオ実験夢チャレンジⅡ」の担当者を、兼任の池島信江助教から久保健一助教へ担当を変更。
- ・定年退職により 兼任の入野保講師が兼任の講師に着任し、兼任として宮下拓也助教が着任。
- ・自己都合により、兼任の吉川清次教授が辞任したため、兼任の宮下拓也助教に「病理学」の担当者を変更。
- ・任期満了により、兼任の池村淑道講師が退職。
- ・より専門的で幅広い知識を学生に教授するため、兼任の近藤健太講師を「免疫学」を担当者に追加。
- ・「心理学」担当の布井雅人講師が自己都合により辞任し、後藤崇志講師に変更。
- ・「社会学」担当の松島悦子講師が自己都合により辞任し、富川拓講師に変更。
- ・自己都合により、兼任の近藤紀章講師、三輪幸一講師が辞任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
8	6	0	2	16	4	11	3	1	3	18	4
(9)	(7)	(0)	(2)	(18)	(4)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
11	3	1	3	18	4	11	3	1	3	18	4
[3]	[△3]	[1]	[1]	[2]	[~]	[3]	[△3]	[1]	[1]	[2]	[~]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ **「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。**（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{16} = \boxed{112.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{4}{4} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	助教	米澤 弘毅	R2.3	選択	医用データベース技術Ⅰ※	①	R2.3.31付け自己都合のため辞任（2）						
				選択	医用データベース技術Ⅱ※	①							
				必修	コンピュータ応用実習	①							
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）＋（F）					後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	1	科目	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{16} = 6.25 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	山本 博章	必修	生命倫理・研究倫理※	①	H31.3.31付け65歳で定年退職（元）			
			選択	バイオ実験夢チャレンジⅠ バイオ実験夢チャレンジⅡ	②				
			必修	応用実験Ⅱ（物質系）	①				
2	教授	水上 民夫	選択	バイオビジネス概論※	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（2）			
			選択	創薬科学概論	①				
			必修	生命倫理・研究倫理※	①				
			必修	Ⅲ専門実験ⅠB（創薬科学系）	①				
			必修	Ⅲ専門実験ⅡB（創薬科学系）	①				
3	准教授	麻生 一枝	必修	一般英語Ⅰ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職（2）			
			必修	一般英語Ⅱ	①				
			必修	科学英語Ⅰ	①				
			必修	科学英語Ⅱ	①				
			必修	生命倫理・研究倫理	①				
			選択	英語多読Ⅰ	①				
			選択	英語多読Ⅱ	①				
			自由	海外英語研修	①				
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
3	人	必修	10 科目	必修	10 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	4 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	1 科目	自由	1 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	17 科目	計	15 科目	計	2 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

山本博章氏は、専門的な知見を有しているので、引き続き、兼任教員（職位：講師）として「バイオ実験夢チャレンジⅠ」「バイオ実験夢チャレンジⅡ」を担当している。
 学生には、WEBシラバスで周知している。

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	遵守事項 平成31年4月からの開設のため今年度は実施しておりません。但し、現在新規教員を採用することを検討しています。	履行中 平成31年4月からの開設のため今年度は実施しておりません。但し、現在新規教員を採用することを検討しています。
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<バイオサイエンス学部 メディカルバイオサイエンス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

(設置目的)

第1条 長浜バイオ大学（以下「本学」という。）バイオサイエンス学部における教育・研究の質向上を図るために、ファカルティー・ディベロップメント（以下「FD」という。）委員会を設置する。

(委員会)

第2条 委員会は、学長が指名する若干名の委員をもって組織する。
2 本委員会のもとに小委員会を置くことができる。

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置き、学長が委員の中から指名する。
2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

(任 務)

第4条 委員会は、全学的な教育・研究の能力向上、その他教育改善を図るため、次に掲げる事項を審議し、FDを推進する。

- (1) FD推進のための企画および実施に関すること
- (2) FDに関する記録および報告書等の作成に関すること
- (3) 大学が取り組む教育改善に関する講演会、シンポジウム等の支援に関すること
- (4) FDに関する自己点検・評価に関すること
- (5) その他FDに関して委員会が必要と認めた事項

(任 期)

第5条 第2条第1項の委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

(事 務)

第6条 委員会の事務は、関連部課の協力を得て学生教育推進機構事務室教務担当が担当する。

(その他)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(改 廃)

第8条 この規程の改廃は、委員会の議を経て、学長が行う。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

本学における学部FD委員会の開催については、年度初（4月下旬～5月上旬）の開催を原則としている。主な審議事項としては、前年度決算報告と当年度予算審議、当年度FD取組方針審議と前年度活動総括、および当該年度活動予定の審議である。それ以降は、年間で2～3回開催し、教育・研究の質向上を図る企画を検討、実行している。

c 委員会の審議事項等

- (1) F D推進のための企画および実施に関すること
- (2) F Dに関する記録および報告書等の作成に関すること
- (3) 大学が取り組む教育改善に関する講演会、シンポジウム等の支援に関すること
- (4) F Dに関する自己点検・評価に関すること
- (5) その他F Dに関して委員会が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ F Dに関する記録および報告書等の作成に関すること
大学の学園通信「めいこう」に活動報告を記載
- ・ 大学が取り組む教育改善に関する講演会、シンポジウム等の支援に関すること
大学内情報システム「デスクネット」に講演会、シンポジウム等の情報提供

b 実施方法

- (1) 関西地区F D連絡協議会に加盟して、他大学等のF D関連セミナーの開催情報の提供を受け、全教職員の参加促進を図っている。参加者にはセミナー報告書と参加時の資料の提出を義務付け、報告書と資料を本学図書情報センターの閲覧コーナーに展示し、教職員の閲覧に供している。
- (2) 他大学等のF Dの取り組みの中で、本学の教学改善に参考とすべきものについては外部講師を招聘し、講演会形式による学部ならびに大学院F D研修会を開催する機会を設け、講演内容をF D委員会ならびに教学関連委員会において議論し、次年度以降の教学改善に繋げる方策を取っている。
- (3) 研修会の内容等を参加教員だけでなく全教員が共有するために、研修会報告・感想、研修内容の活用例等を学内WEB上に公開する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ①「遠隔授業・会議におけるZOOM活用法：初級編」2020年6月11日
(京都大学 助教 久富望 氏 教員41名参加)
- ②「遠隔授業・会議におけるZOOM活用法：応用編」2020年7月6日
(京都大学 助教 久富望先生 教員21名参加)
- ③「自己点検・評価に求められる基準や 点検・評価報告書の作成について」2020年9月1日
(大学基準協会 松坂顕範 氏 教職員103名参加)
- ④「全学必修”AI・ビッグデータ実習”の紹介」2020年9月17日
(長浜バイオ大学教授 白井剛先生 教員59名参加)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- (1) 上記学部F D研修会を経て①②に関しては、コロナ禍の中、WEB動画配信授業作成時の留意点を教わり、学習効果をも高める動画作製の手法を教わった。また、③に関しては、内部質保証を推進していくため自己点検・評価を行う上で参考になった。教員の担当する授業においても自己点検を進めて授業改善を進めていきたい。
- ④の研修会では、少人数学生グループに行ってきたデータサイエンスを取り入れた実習の取り組みについて報告を受け、今後データサイエンスを用いた教育について意見を交わした。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業の最終回に実施（前期セメスター7月末）、後期セメスタ（1月末） 年2回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生には、学内ホームページに公開している。教員に対しては、メール、pdf等でアンケート結果を周知している。

教務委員会では、学生の成績評価と授業アンケートから、極端に学生の理解度が低く不合格者が多い科目に関し、担当教員に対してヒアリングを行い、問題があれば改善を提言する活動を行なっている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

「該当なし」

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

「該当なし」

c 委員会の審議事項等

「該当なし」

d その他

「該当なし」

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

「該当なし」

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

「該当なし」

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

入試定員70名に対し、令和3年度入試では、延べ志願者563（志願倍率8.04倍）と開設以降連続して高い志願倍率が続いている。このことから、この学科に大きな期待が寄せられていることがわかる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年5月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和6年5月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和5年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 ☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 ☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに掲載するなど、積極的な情報提供をお願いします。